

令和3年度  
事業報告書

社会福祉法人  
名張市社会福祉協議会

## 目 次

I	【 法人本部拠点 】	
ア.	法人運営事業	1
	1. 経営管理基盤の見直し・強化	
	2. 職員定着に向けた取組みの徹底	
	3. 感染症対策・災害対策の強化	
イ.	地域福祉増進事業	9
	1. 地域福祉活動計画の推進	
	2. 暮らし応援ネットワーク事業	
	3. 生活支援体制整備事業	
	4. ボランティアセンター事業	
	5. 福祉まちづくりセンター事業	
	6. 福祉団体等当事者活動支援	
ウ.	なばり暮らしあんしんセンター	23
	1. 福祉サービス利用援助事業	
	2. 成年後見事業	
	3. 生活困窮者自立支援事業	
	4. 生活福祉資金等貸付事業	
II	【 在宅福祉サービス拠点 】	
	【 老人福祉センター「ふれあい」拠点 】	33
	1. 「中重度ケア+自立支援介護・重度化防止ケア」の推進	
	2. 健全経営体制の基盤整備	
	3. 業務効率の向上と働きやすい環境づくり	
III	【 昭和保育園拠点 】	44
	1. 事業の概要	
	2. 適正な運営体制確立	
	3. 特別保育事業	
	4. マイ保育ステーションの取組み	
IV	【 総合福祉センターふれあい拠点 】	49

※ 【拠点】は、会計の区分における拠点区分に該当します。

# I 【法人本部拠点】（総務課・地域福祉課）

## ア. 法人運営事業

### 1. 経営管理基盤の見直し・強化

#### 1. 法令順守した会務の運営

##### ①理事会の適正実施

事業計画・予算、事業報告・決算についての承認、規程の一部改正、組織構成会員の入会及び評議員候補者の推薦を行いました。

開催日	議案及び審議事項
第1回 6月4日(金)	1) 令和2年度 事業報告及び附属明細書の承認について 2) 令和2年度 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について 3) 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について 4) 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について 5) 経理規程の一部改正について 6) 組織規程の一部改正について 7) 令和2年度 地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 8) 令和3年度 地域福祉活動助成事業にかかる審査について 9) 組織構成会員の入会について 10) 評議員候補者の推薦について 11) 評議員選任・解任委員の選任について 12) 令和3年度 定時評議員会の日時及び場所、目的である事項の決定について 13) 役員候補者の決定について
第2回 6月22日(火)	1) 会長の選任について 2) 副会長の選任について 3) 常務理事の選任について 4) 評議員選任・解任委員の選任について 5) 顧問の委嘱について
8月26日(木)	予定していた第3回理事会について、新型コロナウイルスの感染が急激に拡大したため、8月23日付中止決定
第3回 12月10日(金)	1) 積立金管理規程の一部改正について 2) 非正規職員給与規程の一部改正について 3) 給与規程の一部改正について 4) 非正規職員就業規程の一部改正について 5) 就業規程の一部改正について 6) 補正予算（第1号）について 7) 組織構成会員の入会について 8) 第2回評議員会の招集について

第4回 3月17日(木)	1) 補正予算(第2号)について 2) 給与規程の一部改正について 3) 非正規職員給与規程の一部改正について 4) 令和4年度 事業計画について 5) 令和4年度 予算について 6) 第3回評議員会の招集について
-----------------	--

### ②評議員会の適正実施

理事会で認定を得た事業計画・予算、事業報告・決算等重要事項の議決の他、役員を選任について承認を得ました。

開催日	議案
第1回 6月22日(火)	1) 令和2年度 事業報告の承認について 2) 令和2年度 計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について 3) 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について 4) 役員を選任について
第2回 12月17日(金)	1) 補正予算(第1号)について
第3回 3月24日(木)	1) 補正予算(第2号)について 2) 令和4年度 事業計画について 3) 令和4年度 予算について

### ③評議員選任・解任委員会の開催

評議員選出母体における異動や役員改選に伴う評議員の交代にあたり、候補者から後任の評議員を選任しました。

開催日	議案
第1回 6月11日(金)	・評議員の選任について

### ④監事監査の適正実施

事業運営と財務管理に係る監事監査を年2回実施しました。

実施日	議題
決算監査 5月18日(火)	1) 令和2年度 事業報告について 2) 令和2年度 決算報告について 3) 役員会等運営及び財務会計に関する事務処理に係るチェックについて
中間監査 11月26日(金)	1) 令和3年度上半期の事業報告について 2) 令和3年度上半期の決算報告について 3) 理事・監事、評議員等の出席状況について 4) 役員会等運営及び財務会計に関する事務処理に係るチェックについて

⑤外部監査

実施期間	監査名称	対象事業等	監査人
7月13日 ※書面	社会福祉施設指導監査	昭和保育園	三重県

⑥組織構成会員種別会（中止）

第3・4・6種の種別会については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し中止としました。

2. 経営管理体制の改善

①経営陣による本部機能の確立

法人の健全な経営基盤の確立を図るため、法人本部会議を年19回開催しました。  
（法人本部会議）

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営会議の協議事項について</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策本部会議の協議事項について</li> <li>・ 次年度の法人組織体制について</li> <li>・ 次年度予算（人件費）について</li> <li>・ 理事会、評議員会の開催について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人の重点課題の取組みについて</li> <li>・ 職員アンケートの対応について</li> <li>・ メンタル不調者の対応について</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症に係る対応について</li> </ul>

②会計管理・財務管理の徹底

顧問税理士の指導のもと、関係規程に則した適切な税務及び財務管理を行いました。

ア. 取引銀行の変更

12月17日をもって中京銀行名張支店が四日市支店内に移転することに伴い、資産の分散管理も考慮して検討した結果、11月より複数の金融機関との取引を開始し、1月26日付にて中京銀行との取引を終了しました。

併せて、金融機関変更に伴う振込手数料の負担軽減を図るため、11月よりインターネットバンキングの利用を開始しました。

イ. 振込等手数料への対応

1月17日よりゆうちょ銀行における現金利用時の加算料金や硬貨取扱料金の新設に伴い、社協会費をはじめとする戸別募金関係の取扱について、地域福祉課と総務課間で協議や情報共有を行いました。

また、令和4年4月1日より伊賀ふるさと農協においても窓口現金整理手数料が新設されることに伴い、手数料等の負担額について交渉を行いました。

③各種制度への対応

顧問税理士の指導のもと、令和5年10月から始まるインボイス制度への対応として、制度の理解をはじめインボイス（適格請求書）のフォーム作成や事業所登録手続き、制度導入にあたっての課題整理などの準備を行いました。

また、電子帳簿保存法への対応準備をすすめました。

### 3. 組織マネジメント体制の強化

法人の健全な経営基盤の確立、業務の円滑な運営を図るため、経営会議を年22回、運営連絡会議を年12回開催し、法人の経営・運営に係る協議、検討を進めました。

(経営会議)

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当初・補正予算について</li> <li>・ 事業計画・事業報告について</li> <li>・ 決算監査・中間監査について</li> <li>・ 理事会及び評議員会について</li> <li>・ 善意銀行運営委員会について</li> <li>・ 決算監事監査の是正事項について</li> <li>・ 組織構成会員 種別会の開催について</li> <li>・ 次年度の法人組織体制について</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症に係る対応について</li> <li>・ テレワークについて</li> <li>・ 処遇改善（保育園・通所介護）交付金及び補助金への対応について</li> <li>・ 法人重点課題の対応について</li> <li>・ 名張市社会福祉大会について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最低賃金引き上げに伴う取り扱いについて</li> <li>・ 事業継続計画（BCP）作成について</li> <li>・ 法人諸規程等の改正について</li> <li>・ 職員採用試験について</li> <li>・ 令和3年度賞与の6月支給率及び非正規職員の支給額について</li> <li>・ 令和3年度12月賞与・令和4年1月定期昇給について</li> <li>・ 事務局経営企画専門員について</li> <li>・ 職員説明会について</li> <li>・ メンタルヘルスの取り組みについて</li> <li>・ 総務課付職員について</li> <li>・ リスクマネジメント委員会の開催について</li> </ul>

(運営連絡会議)

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度 運営連絡会議メンバーについて</li> <li>・ 在宅勤務に関する取組みについて</li> <li>・ テレワークについて</li> <li>・ 20歳以上の女性を対象としたがん検診の受診について</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症に係る対応について</li> <li>・ 法人重点課題の対応について</li> <li>・ 最低賃金について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年次有給休暇取得状況について</li> <li>・ 事業継続計画（BCP）の作成について</li> <li>・ 水道管破損に伴う濁水発生に係る経過について</li> <li>・ ネットワーク接続不良に係る経過について</li> <li>・ 消防訓練等の実施について</li> <li>・ 法人諸規程等の改正について</li> <li>・ アルコールチェックの義務化について</li> </ul>

### 4. 業務効率・生産性の向上

取引銀行の変更に伴いインターネットバンキングを導入し、振込手数料の負担軽減だけでなく業務効率の向上に努めました。

また、給与明細等の電子化に向け、総務課職員を対象に年末調整及び11月支給分給与から試行的に実施しました。

### 5. 施設設備・備品管理

老朽化した施設を維持管理するため、改修工事を行いました。

- ア. 昭和保育園  
園庭ブランコ塗装修繕工事・複合遊具アスレチックネット取替修繕 他
- イ. 総合福祉センターふれあい  
屋上ルーフファンモーター取替修繕・屋外排水管修繕工事 他
- ウ. 通所介護・介護予防通所介護（デイサービス）事業所  
機械浴フロートスイッチ修繕
- エ. 老人福祉センター「ふれあい」  
浴室シャワー水栓取替工事・ろ過機制御用ブレーカー取替工事 他

## 6. 情報管理と広報活動

計算書類等を社協だより「ほほえみ」やホームページに掲載し、積極的に情報を公開しました。

広報作業部会を中心として、社協が行う事業やさまざまな活動状況を紹介するとともに、地域福祉やボランティア活動、各種募金、相談業務の案内等積極的な情報発信に努めました。

### ア. 名張市社会福祉大会の開催と福祉功労者の顕彰

第51回名張市社会福祉大会を10月30日(土)、名張市武道交流館いきいきにおいて開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め、福祉功労者の顕彰のみを行いました。

### イ. ホームページを活用した情報公開と発信

ホームページ上で社協の概要、活動内容、計算書類等の情報を公開するとともに、福祉やボランティアの情報、イベントや各種募金について情報を発信しました。

情報公開と情報発信をする場としてのホームページを適切に運営・管理するため、随時情報を更新し、利用者や参加者の利便性の向上を図りました。

月平均アクセス数 14,094件

### ウ. 社協だより「ほほえみ」の発行

令和3年度より伊賀タウン情報ユーへの折込みにて社協だより「ほほえみ」を年6回(奇数月)発行し、より多くの家庭へ届くように、積極的な情報発信を行いました。

## 2. 職員定着に向けた取組みの徹底

### 1. 人材定着に向けた取組み推進

#### ①人材確保に向けた取組み

ホームページ、社協だより「ほほえみ」への掲載等により職員の求人を実施し、職員確保に努めました。

所属	採用（正規職員）	採用（非正規職員）
総務課	事務員（1名）	専門員（1名）事務スタッフ（1名）
地域福祉課	ソーシャルワーカー （1名）	業務スタッフ（2名）事務スタッフ（1名） 生活支援員（1名）
介護支援課	看護師（1名）	看護師（1名）
昭和保育園	保育士（1名）	調理員（1名）看護師（1名）

## ②人材育成に向けた取組み

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全職員対象の研修は縮小し、外部講師を招いて計画していた研修の開催は中止しました。

(全体研修)

実施日	研修名	対象人数	参加人数
2月21日(月)	メンタルヘルスケア(ラインケア)研修	30名	22名

(階層別研修)

実施日	研修名	参加人数
4月1日(木)	新任職員研修	9名
10月1日(金)	新任職員研修	2名

(担当者研修(内部研修))

実施日	研修名	参加人数
4月2日(金)	「組織構成会員と地域福祉」 「地域福祉活動をささえる各種資金」	6名
4月5日(月)	「予算と会計 入門編」	6名

## ③人事考課・目標管理制度の適正化に向けた取組み

考課者研修を実施し、制度の適正運営に向けて、考課者の資質向上を図りました。

実施日	研修名	対象人数	参加人数
7月27日(火)	新考課者研修	5名	5名

## 2. 労務管理の適正実施

### ①働き方改革・同一労働同一賃金に基づく取組み

年次有給休暇取得義務化により年10日以上有給休暇を付与した職員に対し、付与した日から1年以内に5日の有給休暇を取得するよう周知徹底し、全員取得させました。

新型コロナウイルス感染症の予防及び感染拡大防止を促進し、職員の新型コロナワクチン接種を推奨するために、接種に伴う副反応により就業が困難な場合並びに接種翌日の業務に支障をきたす恐れを回避するために業務上の調整を行う場合に付与する特例休暇を定めました。

### ②安全衛生管理

職員衛生委員会を毎月開催し、職員が働きやすい職場づくりを推進するため、さまざまな課題について協議しました。

また、安全衛生管理規程に則り配置した安全推進者が「職場の安全推進チェックシート」による職場点検を行うとともに、安全推進部会において働きやすい職場づくりを推進するための協議・検討を行いました。

ア. 職員衛生委員会(13回開催)

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度職員衛生委員会構成メンバーについて</li> <li>安全推進部会の報告について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季休暇の取得状況について</li> <li>休職職員について</li> <li>傷病休暇取得職員について</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心の健康づくり計画について</li> <li>・ 職員アンケートについて</li> <li>・ 総務課付け職員について</li> <li>・ ストレスチェックについて</li> <li>・ メンタル不調者支援システムの改善について</li> <li>・ メンタル・ハラスメント相談窓口担当者の変更について</li> <li>・ メンタルヘルス対応携帯電話の取り扱いについて</li> <li>・ 各事業所の衛生管理等について（産業医による職場巡視）</li> <li>・ メンタルヘルスの取り組みについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各事業所別インフルエンザ予防接種接種率について</li> <li>・ 一般事業主行動計画（女性活躍推進）の策定について</li> <li>・ 来年度に向けた法人の安全衛生管理体制について</li> <li>・ 職員アンケート及びメンタル不調者にかかる職員説明会について</li> <li>・ 安全衛生管理計画及び実施結果報告書について</li> <li>・ 月別ノー残業デーの実施状況について</li> <li>・ 月別時間外勤務の状況について</li> </ul>
--	--

イ. 安全推進部会（6回開催）

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員衛生委員会での協議報告</li> <li>・ 部会長・副部会長の選出について</li> <li>・ 安全推進者メンバーについて</li> <li>・ チェックシートについて</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリストについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員衛生委員会の体制について</li> <li>・ 「名張社協職場のほけん便り」配布について</li> <li>・ メンタルヘルスに係る各職場における取り組みについて</li> <li>・ リスクマネージャー連絡会について</li> </ul>

③メンタルヘルス対策の取組み

メンタルヘルス対応体制について協議するとともに、メンタルヘルス不調の職員に対し、復職プログラムを実施するとともに、配置転換による職場復帰に向けた取り組みを行いました。

④仕事と子育ての両立支援と女性が働きやすい環境づくりの推進

職員の仕事と子育ての両立や女性が活躍できるための雇用環境の整備や、労働条件の整備などに取り組むため、次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、職員への周知に努めました。

3. コロナ禍における多様な働き方に対応できる環境づくりの推進

新型コロナウイルス感染症予防・感染拡大防止に伴い、在宅勤務に係る内規に基づき先行的に介護支援課職員が在宅勤務を実施しました。

業務管理、作業環境管理等に係る整理の検討を行いました。また、情報セキュリティポリシー試案を作成し、情報セキュリティ対策の検討協議を行いました。

法人内で開催する各種会議や研修については、Web会議、Web研修にて開催しました。

3. 感染症対策・災害対策の強化

1. 新型コロナウイルス感染症対策の推進

①新型コロナウイルス感染症対策委員会等の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に備えた対策を講ずるとともに、本会の職員及び利用者等から感染者、濃厚接触者等が発生した際の対応を行うため、新型コロナウイルス感染症対策本部、対策委員会を設置し、その取組みを検討・協議しました。

ア. 新型コロナウイルス感染症対策委員会（17回開催）

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度 感染症対策本部会議及び対策委員会組織メンバーについて</li> <li>感染症関係備蓄消耗品について</li> <li>PCR検査の郵送受検について</li> <li>コロナ禍における職員の対応について</li> <li>ワクチンの接種に係る産業医の確認事項について</li> <li>消毒用アルコールの使用方法和保管について</li> <li>コロナワクチンの接種について</li> <li>ワクチン接種に伴う特例休暇について</li> <li>法人内で発生した陽性者、濃厚接触者等の状況報告と今後の対応について</li> <li>職員への周知事項について</li> <li>緊急事態措置実施に伴う分散業務に係る情報セキュリティについて</li> <li>会議室利用者のコロナ陽性者発生に伴う対応について</li> <li>抗原簡易キットの配布事業について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症備蓄消耗品検討会議について</li> <li>三重県新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた無料PCR検査事業について</li> <li>感染症発生時における事業継続計画作成の考え方について</li> <li>三重県まん延防止等重点措置の適用に伴う感染拡大防止対策について</li> <li>法人内で発生した感染者、濃厚接触者等の対応について</li> <li>濃厚接触者の待機期間に係る対応方針について</li> <li>感染拡大防止ガイドライン「感染状況と就業制限の目安」の見直しについて</li> <li>エッセンシャルワーカー（社会機能維持者）について</li> <li>職員が濃厚接触者に判定された際の取り扱いについて</li> <li>ワクチンの3回目接種について</li> </ul>

イ. 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（20回開催）

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度 感染症対策本部会議及び対策委員会組織メンバーについて</li> <li>感染症関係備蓄消毒品について</li> <li>PCR検査の郵送受検について</li> <li>感染症対策委員会及び対策本部会議の会議招集の考え方について</li> <li>コロナ禍における事業運営について</li> <li>「まん延防止等重点措置」の適用に伴う対応について</li> <li>消毒用アルコールの保管について</li> <li>コロナワクチンの接種について</li> <li>法人職員同居家族の陽性者、濃厚接触者等に伴う状況確認について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ対策備蓄消耗品検討チームについて</li> <li>緊急事態措置実施に伴う分散業務に係る情報セキュリティについて</li> <li>抗原簡易キットの取り扱いについて</li> <li>会議室利用者陽性判明後の対応について</li> <li>感染症発生時における事業継続計画作成の考え方について</li> <li>法人内で発生した感染者、濃厚接触者等の対応について</li> <li>昭和保育園園児の陽性発生について</li> </ul>

②新型コロナウイルスワクチンの職場接種の実施

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に備えた対策のひとつとして、本会の職員及び通所介護事業所利用者を対象に、ワクチンの職場内接種を実施しました。

接種回	実施日 / 接種人数（職員・利用者）		
1回目	6月11日（金）職員29名・利用者1名	6月30日（水）職員27名・利用者3名	
2回目	7月2日（金）職員29名・利用者1名	7月21日（水）職員27名・利用者3名	
3回目	2月19日（土） 職員25名・利用者7名	2月25日（金） 職員25名・利用者8名	3月2日（水） 職員25名・利用者6名

## 2. 自然災害対策の推進

福祉避難所の設置及び運営の在り方について、名張市の担当部署との協議を要請しました。  
年2回実施する消防訓練については、コロナ禍において従来の大規模地震等を想定した訓練ではなく、センター内の消防設備の配置場所や作動確認を職員に周知させる目的の訓練を1回実施しました。

自然災害発生時の事業継続計画（BCP）の策定については、自然災害発生時の総合福祉センターにおけるライフラインや備蓄品等の状況と課題を法人内で情報共有、確認を行いました。

## 3. リスクマネジメント対策の強化

デイサービス事業所において発生した事案の情報共有と課題整理を検討・協議するため、リスクマネジメント委員会を開催しました。

リスクマネジメント委員会（1回開催）

協議内容	
・ デイサービス事業所における事故発生報告書について	・ リスクマネジメント委員会の運営について

# イ. 地域福祉増進事業

## 1. 地域福祉活動計画の推進

### 1. 第4次名張市地域福祉活動計画の推進

第4次名張市地域福祉活動計画の2年目として、計画に基づき、地域住民の視点で地域福祉を推進していくため、各地域づくり組織、民生委員児童委員協議会、社会福祉活動団体や行政との連携のもと、基本目標を達成するために各事業をすすめました。

また、第4次名張市地域福祉活動計画を着実に推進していくため、名張市地域福祉活動計画推進委員会を開催し、進捗状況の確認及び評価を行うとともに、地域福祉活動計画の中間見直しに向けた課題整理を行いました。

名張市地域福祉活動計画推進委員会の開催	3月11日（金） 推進委員 4名
---------------------	------------------

### 2. 地域福祉課推進体制の強化

住民の福祉サービスの向上を図ることを踏まえ、地域福祉課としての組織の機能を最大限に活かすため月1回定期的な会議を開催し、各事業の推進状況の確認や評価をすることにより、組織の強化を図りました。

専門員・主任会議の開催	11回
-------------	-----

## 2. 暮らし応援ネットワーク事業

### 1. 地域担当職員の配置

地域福祉係地域担当職員3名が15地域を担当し、地域づくり組織や民生委員児童委員協議会の会合・行事等をはじめとする地域活動の場へ出向き、地域福祉の課題解決に向けた取組みを関係機関とも連携し支援しました。

①地域の会議や事業等への参加状況（地域づくり組織の福祉部会等を除く）

参画支援	会議・事業等
14地域	105回

②民生委員児童委員協議会への参加状況

参画支援	民生委員児童委員協議会
8協議会	77回

③サロン支援状況

参画支援	ふれあい・いきいきサロン
10地域（18団体）	31件

### 2. 身近な福祉課題の解決に向けた取組み

昨年度に引き続き、地域福祉推進懇談会における地域課題について、地域づくり組織等と解決に向けて取組み支援を行いました。

また、各地域づくり組織の福祉部会等における課題解決については、各部会等へ参画し、課題を把握した上で、情報収集や資料提供、助言をすることにより、解決に向けた取組みができました。

①取組み地域（2地区）

対象地域	支援内容
赤目地域 《テーマ》 各地区高齢者サロンに対する支援	地域高齢者間の交流を図るため、民生委員が中心となり、地区集会所を利用し、ミニ講演会やおしゃべり会の開催を支援しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、11月から柏原、長坂、星川で順次実施しています。
名張地域 《テーマ》 災害緊急時要援護者情報支援	災害緊急時要援護者情報を地域でどのように共有するかを支援するため、名張市災害ボランティアセンター設置訓練(12月5日開催)への見学案内や、民生委員による要援護者シート作成、区長と情報共有を図るためのきっかけづくりについて支援しました。

②地域福祉部会等への参画支援

参画支援	会議・事業等
13地域	94回

③子どもの居場所づくり支援

桔梗が丘地域	こども食堂 ～ブックカフェ～ ニーズ把握 7/27、8/11
--------	-----------------------------------

	相談対応	10/11	地域理解を得て活動をしたい
	立上支援	10/20、10/28、11/4、11/11、11/15 11/18、12/1、12/2	計7回
	活動開始	12/8(水)～	毎週水曜日 実施

### 3. 身近な地域で支えあう暮らし支援の取組み

地域ささえあい活動を検討している4地域において、支え合い活動の需要度や必要性の現状調査を行いました。

救急医療情報キットについては、民生委員・児童委員の協力により、高齢者実態調査の機会に合わせて、記入様式に適切な情報を入れているか取扱いに関する声掛けを行ってもらい、漏れのない見守りの仕組みづくりをすすめました。また、外国人を雇用している企業への普及活動や各地域の市民センターへポスターやチラシを配布しPR活動の拡大に取り組みました。

#### ①新たに活動を検討している地域への情報提供

対象地域	支援内容
箕曲地域 アンケート調査等の支援	地域高齢者の交流や生きがいづくり等のニーズを明らかにするために、支援を進めました。

#### ②救急医療情報キット

令和3年度申込	250世帯・357名
利用者数	3,592世帯(48世帯増) 5,805名 (利用廃止1,644世帯・2,476名 ※H24からの廃止総数)
救急隊活用件数	29件 期間：令和3年1月1日～令和3年12月31日

### 4. 課題解決に向けた各種連絡会等の取組み

#### ①配食ボランティアグループ連絡会

配食ボランティアグループ連絡会の開催を通じて、コロナ禍で配食活動を継続するための工夫や悩みを話し合い、新型コロナウイルス感染対策情報を提供しました。

連絡会	日 時：令和3年7月8日(木) 13:30～14:30 場 所：名張市総合福祉センターふれあい 101 会議室 参加状況：配食活動7団体12名 内 容：連絡 1) 地域福祉活動助成事業について 2) 食品衛生法改正に伴う伊賀保健所への届出について 3) 配食ボランティア活動者向け研修会について 情報交換会
研修会	【配食ボランティアグループ研修会】 日 時：令和3年8月16日(月) 14:00～ 場 所：総合福祉センター ふれあいホール 参加状況：配食活動6団体23名 講 師：伊賀保健所 講 義：「配食ボランティア活動の衛生管理で気をつけたいこと」 体 験：「使い捨て手袋の正しい使い方」

## ②ふれあい・いきいきサロン交流会

ふれあい・いきいきサロン交流会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り止めましたが、株式会社アドバンスコープの協力のもと、高齢者・子育てサロン等の様子をケーブルテレビで放送をしてもらうことで、サロン活動の周知を図りました。

高齢者・子育てサロン等紹介数	3地域／3団体
----------------	---------

## ③地域ささえあい活動連絡会

地域ささえあい活動連絡会の開催を通じて、コロナ禍で活動を継続するための工夫や悩みを話し合う機会となりました。

連絡会	日 時：令和3年7月27日（火）10:00～11:30
	場 所：名張市総合防災センター 参加状況：地域ささえあい活動11団体22名 内 容：情報交換会 連絡 1) ごみ搬入について 2) ケアラー支援条例について 等

## ④福祉協力校連絡会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による情報共有の機会を設けました。

令和3年度 福祉協力校数	21校
開催時期・内容（2回）	（6月）各学校での福祉教育の実施計画 （3月）各学校での福祉教育の実施状況

## 5. 名張市社会福祉法人連絡会

地域における公益的な取組みが社会福祉法人の責務として位置づけられていることを受けて、各法人の既存の取組みに加え、各法人がこれまで事業の中で培ってきた専門性や人材育成、さらには各々の地域貢献活動で積み重ねてきた経験を活かし、地域課題の改善・解決を目指す地域福祉の担い手として、法人間の連携・協働による公益活動を推進しました。

### ①会員法人間における情報交換と連携の強化

通常総会	1回	5月19日
臨時総会	2回	7月26日・12月10日
全体会	4回	7月2日・9月28日・11月24日・3月28日
役員会	8回	4月13日・5月12日・6月3日・7月7日・8月20日 10月29日・1月12日・2月21日

### ア. プロジェクトチームの設置

人材確保と福祉現場の魅力発信及び地域公益活動推進のため、市民への社会福祉法人連絡会の取り組みを発信するため、DVDとホームページの制作について、プロジェクトチームを設置しました。

プロジェクト会議	4回	7月29日・11月8日・12月3日・1月11日
----------	----	-------------------------

### イ. 職員研修会の開催（Zoomを活用したweb研修）

法人間の協力・連携強化と職員の資質向上を目的に、職員研修を開催しました。

10月15日	テーマ：「LGBTQ+出張授業」 講師：NPO法人ASTA共同代表理事 松岡 成子氏 参加者：45会場 107名
--------	--

②会員法人間の連携協力による諸課題の解決

- ア. 魅力ある職場づくりのため、「人材を確保するためのアンケート」調査を実施しました。
- イ. 人材確保と福祉現場の魅力を市民へ発信するため、DVDを制作しました。
- ウ. 各法人が経営する福祉施設が貸出せる物品や会議室等のスペース、出前講座や専門相談など、施設の特徴を生かし、地域福祉活動団体や地域の方々に活用いただく、「法人活用ガイド」を300部作成し、各地域づくり組織や関係機関・団体等に配布しました。
- エ. 福祉避難所設置・運営マニュアルの策定と福祉避難所開設；訓練の実施について、名張市へ要望書を提出しました。

③法人連絡会の市民への周知と理解促進

- ア. 名張市社会福祉協議会ホームページ内に、「名張市社会福祉法人連絡会」の特設ページを開設するとともに、新たに法人連絡会専用ホームページを開設しました。
- イ. 社協広報誌「ほほえみ」や各法人が発行している広報誌において、法人連絡会の活動について情報発信を行いました。

### 3. 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターを中心に、地域の多様な福祉課題に対し、地域ささえあい活動を展開・実施する地域づくり組織、ボランティア、行政等と協力し、生活支援体制の整備に取り組みました。

#### 1. 生活支援コーディネーターの配置による地域担当制の強化

①全市的な生活支援・介護予防サービスのコーディネーター等に関する取り組み

地域ささえあい活動で、よりきめ細かな情報交換や活動者同士で意見交換の機会をつくるため、活動体制に沿って3つの小グループを編成し、専門部会を行いました。

配食ボランティア活動には、活動上での困りごとに対して、生活支援コーディネーターより懇談会等の開催を提案・調整し、ボランティア同士のより具体的な意見交換の機会をつくりました。

また、「各地区の社会資源マップ」は冊子ベースから検索サイトシステムの導入にともない、システムに掲載できるようにインフォーマルな社会資源情報の更新作業を適切に進めました。

ささえあい活動専門部会	日時・参加状況：地域ささえあい活動11団体24名
	Aグループ 生活支援
	11月29日（月）13：30～ 4団体8名参加
	Bグループ 生活支援・外出支援（コミュニティバス）
	11月30日（火）10：00～ 3団体6名参加
Cグループ 生活支援・外出支援（軽自動車）	
11月30日（火）13：30～ 4団体10名参加	
場 所：名張市総合福祉センターふれあい	
内 容：情報交換会	

配食ボランティア活動懇談会・意見交換会	日 時：令和3年10月29日（金）11：30～ 場 所：桔梗が丘南市民センター 対 象：2地域（すずらん台、桔梗が丘） 内 容：懇談会 桔梗が丘地域）ボランティア有償化について すずらん台地域）会食について 献立、弁当材料の買い出しなどの意見交換 参加者数：すずらん台 3名、桔梗が丘4名、社協1名
	日 時：令和3年6月19日（土）13：30～ 場 所：つつじが丘市民センター 対 象：健康福祉部 理事、配食サービスVG「つつじ」 活動者 内 容：意見交換会 説明 配食ボランティア活動の果たす役割とは それぞれの立場で協力できること 参加者数：健康福祉部4名、配食ボランティア10名
「各地区の社会資源」マップの更新および活用	検討会議および名張市等との打合せ 6回 社会資源システム（仮）の導入および更新作業について 7/7、9/14、12/27、1/13、2/18、3/17
	更新作業 時 期：令和4年1月下旬～2月末 対 象：160活動団体 ふれあい・いきいきサロン 117団体 地域ささえあい活動 11団体 配食ボランティアグループ 9団体 地域交流拠点 8拠点 地域ボランティア活動 15団体 方 法：地域資源シートを対象活動団体へ郵送もしくは手渡し 返信後、情報内容を聞き取り調査

## 2. 住民による生活支援サービスへの取組み支援

生活支援サービスの不足に対し、必要とする地域へ生活支援コーディネーターが訪問し、地域主体で活動を始めるための立ち上げ支援を行いました。

ささえあい活動 1地域	4/1、4/28 国津地域ささえあい活動準備委員会 5/20 発足式 国津地区地域づくり委員会ささえあいネット 住民主体型生活支援サービス
配食ボランティア活動 1地域	4/13、5/11、5/25 配食ボランティア活動準備委員会 6/1～ 配食ボランティアグループ長瀬「ささゆり」活動開始 活動日：毎週火曜日 夕方5時頃 対象者：長瀬・上長瀬地区の高齢者 利用料：500円（おかずのみ400円）

## 4. ボランティアセンター事業

### 1. ボランティアセンター運営委員会

市民のボランティアに対する理解と関心を高め、ボランティア活動の育成・援助を行うと共に、

ボランティア相互の連携を図り、地域福祉の推進に寄与することを目的とするボランティアセンターの円滑な運営とボランティア活動の推進を図りました。

第1回 5月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度名張市ボランティアセンター及び福祉まちづくりセンター事業報告について</li> <li>・令和3年度名張市ボランティアセンター及び福祉まちづくりセンターの取組について</li> <li>・ふれあいフェスティバル実行委員会委員の選出について</li> </ul>
第2回 8月6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第51回名張市社会福祉大会における被表彰者の推薦について</li> <li>・福祉まちづくりセンター第1四半期の事業実施報告について</li> <li>・ふれあいフェスティバルの開催について</li> </ul>
第3回 3月3日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度ボランティアセンター取組み報告及び福祉まちづくりセンター実績報告について</li> <li>・令和4年度名張市ボランティアセンター事業計画(案)について</li> <li>・名張市ボランティアセンター運営委員の改選について</li> </ul>

## 2. 課題解決にむけた連携機能の強化

地域福祉活動団体やボランティアグループとの連携や養成に向けた講座や研修会等については、新型コロナウイルス感染防止のため実施することができませんでした。

ボランティア連絡協議会は定期的に開催をし、ボランティア団体同士の連携と強化を図るとともに、新たなボランティアグループの協議会へ参加について協議しました。

ボランティア連絡協議会への参加団体数	12団体
ボランティア連絡協議会定例会への参画	11回

## 3. ボランティア活動へのきっかけづくり、人材養成研修の企画・実施

ボランティア活動へのきっかけづくりとして、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、人材養成研修を以下のとおり実施しました。

また企業におけるボランティア活動の意義を啓発するため、「従業員のボランティア活動支援のすすめ」を市内35社に配布し、企業においてボランティア活動のきっかけづくりとしました。

地域福祉担い手養成研修 (生活支援員)	日程：10月20日、10月27日(2日間) 場所：名張市総合福祉センターふれあい 参加者数：19名
------------------------	--

## 4. 福祉教育の充実と推進

小中学校における福祉教育は、新型コロナウイルス感染防止のため、感染対策と注意喚起をした中で、出前講座を実施しました。

福祉教育のための出前講座 (視覚障がい者体験・車いす体験)	日程：10月20日(水)・21日(木) 参加者数：名張中学校1年生 155名
----------------------------------	---

## 5. 災害ボランティアセンターの運営

名張市災害ボランティアセンターの運営体制の充実強化のため運営委員会を設置し、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを策定するとともに、災害ボランティアを対象とした研修会を開催しました。

①災害ボランティア登録

災害ボランティア登録数	個人61名及び1団体
-------------	------------

②災害ボランティアセンター運営委員会

7月26日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター設置・運営訓練について</li> <li>・災害ボランティア研修及び情報交換会の開催について</li> </ul>
10月19日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター設置・運営訓練について</li> <li>・災害ボランティア研修及び意見交換会の開催について</li> </ul>
11月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター設置・運営訓練について</li> </ul>
3月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター設置・運営訓練の振り返り</li> <li>・令和4年度事業計画(案)について</li> <li>・運営委員の改選について</li> </ul>

③災害ボランティアセンター設置・運営訓練

災害発生時における名張市災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営に向け、運営手順の確認と検証及び今後に向けての課題抽出を行うことを目的に災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。

日時：12月5日(日) 午前9時～午後3時まで

場所：名張市総合福祉センターふれあい 参加者：70名

④災害ボランティア研修会

平時から連携・協働を図り、支え合いなどの「地域力」を養っていく必要があることから、災害ボランティアを対象とした研修会を開催しました。

日時：10月24日(日) 午後1時30分～

場所：名張市教育センター大研修室 参加者数：34名

テーマ：「大規模災害について考える」

講師：名張市危機管理室 防災担当監 河合 良晃氏

## 5. 福祉まちづくりセンター事業

福祉まちづくりセンターはショッピングセンターリバーナ3階に設置をし、夜間は19時まで、また土日祝も開設することにより、ボランティア相談やボランティア活動保険の加入、助成事業の申込など住民の利便性を高めることに取り組みました。

### 1. 相談、活動支援

相談実績(相談区分と件数)

ボランティア 相談区分	新規	継続	延べ	ボランティア以外 相談区分	新規	継続	延べ
ボランティア依頼	31	29	60	情報提供等	177	19	196
ボランティア希望	13	20	33	社協事業問合せ	496	114	610
活動支援	172	49	221	受付(申込等)	443	14	457
情報提供	44	3	47	問合せ(軽微なもの)	155	4	159

情報発信	16	1	17	助成受付	2	1	3
その他	27	2	29	その他	223	7	230
計	303	104	407	計	1,496	159	1,655
					窓口利用者数		2,062

## ②会議室等利用実績

利用件数	利用団体	利用者数
82件	57団体	438人

## ③イベント企画を通じたボランティア団体等の参画促進

活動者のみならず、広く住民に周知しボランティア活動にふれてもらうため、「椅子に座って健康体操」「歌声広場たんぽぽ」「脳トレ楽習」など、気軽に参加できるイベントを実施し、センターやボランティア活動の周知に取り組みました。

イベント開催回数	参加延人数（協力者含む）
288回	2,304人

## ④イベント等ボランティア活動の場づくり事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止が余儀なくされる中、再開時には、ボランティア団体等と協働でイベント等を実施しました。

開催日	イベント内容	参加数
12月19日（日）	こどもなんでも体験団 「ヒバの枝でクリスマスリースを作ろう」	15名 (応募者62名より抽選)
12月19日（日）	「おもちゃ図書館&おもちゃばこ」 合同クリスマス会	39名

## 2. ボランティア活動の場づくり

ボランティアの活動実践の発表の場としての『ふれあいフェスティバル』を開催すべく、5回の実行委員会を開催しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴いやむなく中止としました。また、ボランティアや福祉施設等との交流や体験教室等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

## 3. 担い手の育成、活動支援

① “わかりやすい・楽しめる” ボランティア養成講座の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、実施することができませんでした。

スクエアステップ教室については、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら実施しました。

スクエアステップ教室	4月～3月（全12回）毎月第2・4水曜日 延べ参加者180名
------------	-----------------------------------

## ②子育て支援員養成研修の実施

こども支援センターかがやきと連携し、子育て支援や働く女性のための支援活動を実施しました。

実施講座	内容
子育て支援員研修	10月28日(木)～11月29日(月) 10日間 参加者30名

#### 4. 広報啓発

福まち新聞	月1回(1日発行) Vol. 148～158 (計10回)
情報発信、啓発 (随時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやフェイスブック、ツイッター</li> <li>・地域の広報紙やボランティアに関するチラシ等の設置</li> <li>・イオン名張店1階名張忍ラウンジでの掲示</li> <li>・センターフロア内にボランティア活動団体紹介のパネル展示</li> </ul>

#### 5. 交流活動

##### ①おもちゃ図書館サロン事業「おもちゃばこ」の開催

おもちゃばこ	第2・4日曜日(保護者47名 子ども55名)
--------	------------------------

##### ②家族介護者の会「楓の会」共催による事業実施

さくら喫茶	毎月1回(計8回) 参加者57名
介護者のつどい	3月23日(水) 総合福祉センターふれあい3階 21名

### 5. 福祉団体等当事者活動支援

#### 1. 福祉団体等との連携・協働の強化、当事者活動支援

##### ①福祉団体の自立運営支援と協働

各福祉団体(老人クラブ連合会、身体障害者互助会、遺族連合会、保護司会)との「事務に関する覚書」を本年度も締結し、団体運営に必要な事務補助や各会議への出席等各福祉団体と連携することにより、各団体活動が円滑に実施することができました。

##### ②家族会等の活動支援

###### ア. 家族介護者の会「楓の会」運営支援

家族介護者の会「楓の会」事務局運営支援とともに「さくら喫茶」や「介護者のつどい」を共催で行いました。

###### イ. 精神障害者家族会「なばるの会」との連携

家族会との連携を図るため、毎月1回定例会に出席し情報提供や活動支援に取り組みました。

###### ウ. 障害者スポーツ大会実行委員会事務局運営支援

3障がい(知的・精神・身体)を代表する団体が主体となり関係機関・団体等が参画して組織する「障害者スポーツ大会実行委員会」の事務局としての支援を行いました。

9月26日(土)	三役会の開催(2回) ・新型コロナウイルス感染防止のため開催中止を決定
----------	--

##### ③とれたて名張交流館事業への参画

とれたて名張交流館運営協議会へ参画し、「とれなば」の健全な運営に向けた意見交換を行うとともに、出店をしている、高齢者や障がい者団体への支援を行いました。

「とれなば」への出展団体数	14団体
---------------	------

#### ④追悼式開催支援

各地域づくり組織や地区遺族会主催における追悼式開催へ助成を行いました。(8地区)

#### ⑤交流活動

おもちゃ図書館の運営

開館日数	140日
利用者数	263名 (大人117名、子ども146名)
協力ボランティア	1名 (活動日数 69日)

## 2. 地域福祉活動助成事業

### ①地域福祉活動助成事業

各財源に基づく委員会等での審査・決定により、地域福祉活動団体への活動助成を行いました。令和2年度の募金運動実績に基づき本年度7,653,144円(百貨店募金を含む)の配分を受け、地域福祉活動への助成支援並びに市社協事業に活用しました。

助成内容	金額
地域づくり組織が取り組む福祉活動	1,290,860円
地域福祉活動助成事業	5,795,002円
市社協事業	567,282円

地域福祉活動助成事業 事業名	助成額	財源
地域見守り配食事業	994,700円	共同募金配分金 (8件)
	300,000円	善意銀行寄付金 (1件)
地域見守り事業	2,260,000円	共同募金配分金 (70件)
ひとり暮らし高齢者のつどい事業	294,300円	補助金 (9件)
ボランティア活動事業	1,090,000円	共同募金配分金 (31件)
福祉協力校活動事業	510,000円	共同募金配分金 (21件)
当事者・家族会活動事業	85,000円	善意銀行寄付金 (4件)

### ②各地域づくり組織への福祉活動助成

15の地域づくり組織の福祉活動を支援するために助成しました。

### ③歳末たすけあい運動配分事業

本年度は3,097,500円の募金協力をいただき、実績に応じて配分を受け、歳末たすけあい運動配分事業及び広報啓発事業への活用として全額配分しました。

## 3. 共同募金配分事業、歳末たすけあい運動配分事業

### ①名張市共同募金委員会の運営

住民参画による共同募金運動をすすめるため、名張市共同募金委員会を開催し事業を展開しました。

運営委員会	委員10名 開催5回、 監事2名 監査1回
-------	-----------------------

## ②共同募金運動の展開

ア. 地域づくり組織とともに、戸別募金への協力と活用周知

各地域づくり組織の会合等において、募金協力依頼と活用についての説明を行い、理解と協力をお願いしました。

イ. 法人募金の取組み

市内企業を中心に訪問等により協力依頼しました。また、(株)ユー(伊賀タウン情報ユー)による、紙面広告にあわせての法人募金の取組みへの協力をいただきました。

協力いただいた企業等	137件	募金額	1,201,500円
------------	------	-----	------------

ウ. 共同募金実績 9,873,183円

募金の種類	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	全世帯協力依頼
街頭募金	市内スーパー等16店舗にて34ヵ所実施(協力152人)
法人募金	市内の企業等へ依頼(依頼269法人、協力137法人)
学校募金	小学校14校、中学校5校、高校2校、高等専門学校1校 特別支援学校1校
職域募金	市や小中学校をはじめ、市内の社会福祉法人や企業等の職員へ依頼 (依頼45職域、協力42職域)
イベント募金	イベントでの募金箱設置や模擬店による啓発(4ヵ所7日間)
個人募金	個人での協力や、「呪術廻戦」のクリアファイル、バッジ等の共同募金啓発グッズ、募金機能付き自動販売機やマッサージ機利用による募金並びに、ボランティア活動の場や店舗・市役所等への募金箱設置(協力80件)
UMOU募金	主に市内から羽毛製品の回収22点

エ. 歳末たすけあい募金実績 3,097,500円

募金の種類	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	全世帯協力依頼
個人募金	名張市仏教会様、他1件より寄附

オ. 新しい募金方法の取組み

- ・赤い羽根募金百貨店プロジェクト

参加企業から地域住民へ寄附付商品を提供し、収益の一部を募金していただく、三重の赤い羽根募金百貨店プロジェクトの取組みを進めました。新たに2企業にご参加いただきました。

参加企業	寄附付商品内容	募金額
7企業	食事代、宴会代や販売収益の一部を寄附	40,000円

- ・赤い羽根企業等応援団

共同募金運動の応援団として、寄付・募金活動やそれ以外の協力内容から任意に選択し、社会貢献活動をしていただく企業として1社が登録をしていただきました。

- ・三重のスポーツと共同募金連携の取組み

人々に元気と勇気を与え、また、人と人を結びつけること等スポーツの持つすばらしさ

と「じぶんのまちを良くするしくみ」の共同募金が連携して共同募金運動の取り組みを進めていくスポーツチームとして、「ランポーレ三重」とサポーター宣言をしました。

・赤い羽根自動販売機の設置

飲料メーカーのご協力をいただき、5台の社会貢献型自動販売機による募金活動を推進しました。

カ. 災害義援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受付を行い、三重県共同募金会を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	本年度送金額
熊本県南豪雨義援金	令和2年7月8日～令和4年9月30日	47,596円

③共同募金を活用した社協主催事業

ア. 広報、啓発事業

名張市社会福祉大会を名張市と共催で開催し、本市において社会福祉活動等に功績のあった個人・団体を顕彰しました。また、社協だより「ほほえみ」へ共同募金の計画や報告等の掲載による啓発を行いました。

なお、例年開催していますが、ふれあいフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

イ. 当事者等支援事業

在宅介護者が日頃の悩みや介護体験を相互に交流することにより、心身のリフレッシュや各種情報交換を図ることを目的に、介護者のつどいを開催しました。

介護者のつどい	映画鑑賞&交流会 開催日：3月23日（水） 総合福祉センターふれあい3階 参加者：21名
---------	--

4. 善意銀行事業

①適正な運用管理

住民からの寄附を受け効果的に配分・活用することを目的として、運営委員会を開催し、善意銀行の運営を行いました。

ア. 名張市善意銀行運営委員会

6月4日（木）	令和2年度実績報告の認定について 令和2年度地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 令和3年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について
3月16日（火）	令和3年度寄附状況と配分（支出）状況について 令和4年度事業計画（案）について

イ. 寄附受領実績

種別	件数	金額・物品
現金の寄附	24件	780,912円
物品の寄附	2件	車いす1台、米10kg

## ②計画的な運用

事業内容	金額	備考
罹災者救援要綱に基づく見舞金	0円	なし
地域見守り配食事業	300,000円	1団体
当事者・家族会活動事業	85,000円	4団体
車イス一時貸出事業	71,720円	修理、点検、調整
指定寄附	210,000円	子ども食堂、生理の貧困
計	666,720円	

## 5. 日本赤十字社名張市地区事業

### ①赤十字運動月間における赤十字活動の周知と活動資金の募集

日本赤十字社の人道的諸活動を行うための活動財源として、地域づくり組織を通して、全世界帯を対象にお願いしました。

#### 日赤活動資金の実績

活動資金の内容	金額
各世帯	6,274,413円
法人	972,000円
個人・口座振替	212,000円
合計	7,458,413円

### ②活動資金募集にかかる地域づくり組織への協力依頼

4月から5月にかけて15地域の会合に出向き、日赤活動資金をはじめとする、年間通じて取り組む各種資金募集への協力を依頼しました。

### ③地域づくり組織への福祉活動助成、講習会開催の促進

地域づくり組織における福祉活動支援として、日赤交付金より627,400円を助成しました。

### ④災害義援金・救援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受付を行い、日本赤十字社を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	本年度送金額
平成30年7月豪雨災害義援金 (岡山・愛媛・広島)	平成30年7月10日～ 令和4年6月30日	24,832円
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	令和3年2月24日～ 令和3年5月31日	38,670円
令和3年7月大雨災害義援金 (静岡・島根・広島)	令和3年7月9日～ 令和3年12月28日	99,351円
令和3年台風第9号等大雨災害義援金 (青森)	令和3年8月18日～ 令和3年12月28日	84,324円

令和3年8月大雨災害義援金 (福岡・佐賀・長崎・島根・広島・長野)	令和3年8月23日～ 令和4年3月31日	88,623円
令和3年長野県茅野市土石流災害義援金	令和3年9月14日～ 令和4年3月31日	80,242円
NHK海外たすけあい	令和3年12月1日～ 令和3年12月25日	461円
ウクライナ人道危機救援金	令和4年3月2日～ 令和4年5月31日	482,505円

## 6. 名張市社会福祉協議会窓口サービス

社協に寄せられるさまざまな問合せや相談等に対応するとともに、窓口サービスの向上に努めました。

### ①地域福祉活動支援備品の貸出

地域福祉活動を支援するため、活動に役立つ各種備品を貸出しました。

貸出件数	214件 プロジェクターや模擬店機材等(120件) 地域福祉教育備品(6件)、 楽器等(88件)
利用団体数	48団体

### ②車イス無料貸出事業

市民団体や企業等から寄贈いただいた車イスを、市民がケガ等により一時的に必要とされる場合の支援として延べ82件貸出をしました。

使用目的	貸出件数
通院や通学のため	36件
買物等行楽のため	27件
自宅内での移動のため	19件

## ウ. なばり暮らしあんしんセンター

### 1. 福祉サービス利用援助事業

#### 1. 日常生活自立支援事業の推進

なばり日常生活自立支援センターの相談件数は、前年度より248件減少しました。新規契約の締結は14件、実利用人数は4名増加し77名になりました。契約終了件数については10件で、後見人等への引継ぎは2件、次いで転居1件・施設入所2件・死亡5件、となっています。成年後見事業を始め、市内関係機関と連携し切れ目のない権利擁護支援に取り組みました。

#### ①相談援助件数等

(件数)

事項/対象者	認知症 高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他	合計
問合わせ件数	0	0	0	0	0
初回相談件数	12	5	9	0	26
相談援助件数	919	2034	2019	178	5150

契約締結件数	5	4	5	0	14
終了件数	5	2	2	1	10
実利用人数 (令和2年度末)	15	30	31	1	77

実利用者数の推移

(利用者数)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	令和3年度
実利用者数	59	63	67	73	77

## ②生活支援員活動の推進

(件数)

生活支援員 担当件数	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	合計
	14	29	30	1	74
活動者名(登録者22名、うち新規1名) 生活支援員による支援 74件/77件 支援員対応率96%					

## ③「地域福祉」担い手養成研修 ～生活支援員養成講座～

10月20日、10月27日 2日間で開催

参加者21名、修了者19名(内、生活支援員登録者12)

## ④生活支援員定例会の開催

活動中の生活支援員を対象に、定例会を下記のとおり開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、少人数で4回に分けて実施しました。

3月 2日(水)	日常生活自立支援事業生活支援員研修
3月 8日(火)	～支援者スキルアップ研修～
3月17日(金)	三重県立こころの医療センター 精神保健福祉士 澤井優輝氏

## 2. 相談支援体制の強化

### ①関係機関との連携

三重県社協日常生活自立支援事業契約締結審査会のほか、権利擁護に関する各種協議会、連絡会等において、関係機関との情報共有や支援連携を実施しました。

会議等への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県社協日常生活自立支援事業契約締結審査会(毎月・ZOOM)</li> <li>・地域ケア会議、カンファレンスへの参加(34回)</li> </ul>
---------	--

### ②資質向上にむけた研修会等への参加

当年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web会議システム等を活用したオンライン研修に参加しました。

研修会への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任専門員研修、講師として派遣と新任者受講(4/18)</li> <li>・災害福祉かんたんマップ公開セミナー(7/16)</li> <li>・地域福祉実践力向上研修(1/27)</li> <li>他機関協働による包括的相談支援の実践</li> <li>・成年後見にかかるスキルアップ研修(11/25)</li> </ul>
---------	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リンクワーカー養成研修（10/12、12/3）</li> <li>・日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修Ⅱ（1/24、25）</li> <li>・専門員資質向上研修（2/1）</li> <li>・災害福祉リーダー研修（3/10）</li> </ul>
--	--

## 2. 成年後見事業

### 1. 法人後見事業の運営

#### ①法人後見等の受任

親族関係や経済的な理由等により適切な後見人等を得られない方々に対して、法人が後見の受任をし、財産管理や身上保護を行うことで、安心して生活ができるよう支援をしました。

（令和3年度受任件数：後見4件、保佐2件） (件数)

支援実績	来所	訪問	電話	合計
後見(4件)	11	86	138	235
保佐(2件)	32	133	903	1,068

#### ②法人後見受任委員会の開催

法人後見受任の検討や適切な法人後見業務の実施のため、法人後見受任委員会を市内外の法律関係者、学識経験者、民生委員・児童委員、名張市等の参画のもと開催しました。

年4回開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回のみとしました。

開催回数・日程	検討項目
第39回 6月10日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見受任者の経過報告と支援計画について</li> <li>・遺産分割協議案件について 等</li> </ul>

#### ③研修等への参加による職員の資質の向上

研修等に参加し、専門的知識を深め支援の質の向上に努めました。

研修会の参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見にかかるスキルアップ研修会（11/25）</li> <li>・成年後見申立支援研修（1/20）</li> <li>・福祉関係者が知っておきたい「任意後見制度」（3/8）</li> <li>・相談支援包括化推進員等養成事業 地域福祉実践力向上研修等（1/13、2/17、2/3、12/9）</li> <li>・リンクワーカー養成研修（10/8、12/3）</li> </ul>
出前講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求められる権利擁護支援とは（3/14）</li> </ul> <p>（主催：伊賀市社会福祉協議会・共催：名張市地域包括支援センター）</p>

#### ④法人後見支援員の育成・支援

被後見人等の居所訪問を行う法人後見支援員を確保し、法人の強みである身上保護面の対応を中心に法律関係者等と連携して育成・支援に取り組みました。

（法人後見支援員数：6名／担当件数6件）

## 2. 名張市における法人後見受任体制のあり方検討（法人後見支援員による実務）

名張市では第三者後見人（担い手）不足が深刻なことから、法人後見の特性である複数人体制で、その人らしく地域で生活できるよう、特に意思決定支援・身上保護面を重視した後見活動ができる体制の検討を行いました。法人後見専門員の専門性向上にとどまらず、法人後見支援員の価値・知識・技術の向上を図るため実務経験を積み重ねています。

本年度行った法人後見支援員による後見実務は、各種証書類更新申請、登記事項証明書申請、家裁への事務報告・報酬付与申立等です。本年度は特に相続が2件発生し、1件については法人後見支援員が戸籍取寄せから相続人確定までの実務を行いました。

## 3. 相談支援体制の強化

関係機関等と情報、支援方針を共有し、チーム支援に取り組む体制強化を推進しました。

地域ケア会議等関係機関との協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊賀地域福祉後見サポートセンター (運営委員会2回、実務担当者会議2回、名張市地域包括支援センターとの情報交換会12回)</li> <li>・津家庭裁判所伊賀支部との意見交換会 1回</li> <li>・中核機関設置に係る情報交換会 1回</li> <li>・地域ケア会議、カンファレンスへの参加 15回</li> </ul>
-----------------	---

## 4. 権利擁護に関する総合相談

関係機関と連携しながら、成年後見制度の申立や高齢者や障害者及びその家族からの先々の生活不安への相談等に関する相談支援を行いました。(件数)

相談・対象区分	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	合計
新規相談	3	3	1	2	9
継続相談	4	6	0	1	11
問合せ	1	1	0	2	4

## 3. 生活困窮者自立支援事業

相談者が抱える課題については、以前から「経済的困窮」が最も多かったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、その割合が大幅に増加し、休業やシフト減、雇止め等を余儀なくされ、経済的に苦しい状況に陥った相談者が多くを占めました。相談内容の特徴としては、「たちまちの食糧確保」や「住まいの不安」に関する支援を求める相談が年代を問わず増加し、その支援として住居確保給付金、緊急食糧支援などの支援につながりました。

生活困窮者自立支援事業では、様々な困りごとを抱える生活困窮者に対して、包括的かつ継続的な支援を実施し、課題を整理し、本人とともに目標や具体的な支援プランを作成し、自立に向けて、伴走型の支援を行いました。

また、名張市福祉事務所と連携することで、生活保護制度と横断的な支援が可能となり、切れ目のない一体的な支援を行いました。

### 1. 相談支援体制の基盤強化

生活困窮者自立支援事業の専門相談員の確保を図るとともに、相談援助職として必要となる

知識・技術等の向上のため、研修会に参加し、相談員の資質向上を図りました。

また、社協が持つ日常生活自立支援事業や福祉資金貸付事業、居宅介護支援事業等との連携を図るとともに、市内社会福祉法人をはじめとする地域のネットワークを活用し、支援体制の基盤強化を図りました。

研修会への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任相談支援員養成研修（9/13）</li> <li>・家計改善支援事業従事者養成研修（9/10、10/8）</li> <li>・就労支援員・就労準備支援事業者養成研修（11/30）</li> <li>・自立相談支援従事者養成研修（11/26）</li> <li>・東海北陸ブロック研修（12/16～12/17）</li> <li>・総合相談・生活支援事例検討会（3/2）</li> <li>・地域福祉実践力向上研修（2/2）</li> <li>・相談支援包括化推進員等指導者研修（2/17）</li> <li>・引きこもり支援研修（1/27）</li> <li>・多重債務相談研修（12/2）</li> <li>・課題別専門研修 「地域共生社会づくりにおける福祉人の役割と期待」（7/20）</li> </ul>
---------	---

## 2. 必要な方へ必要な情報を届けるための周知啓発

生活困窮者自立支援事業に関する事業啓発を傾聴ボランティア団体に行いました。また、エリアディレクター会議に出席し連携方法等について協議しました。

## 3. みえ福祉の「わ」創造事業 食糧提供支援等実施状況

三重県内の社会福祉法人が、協働して「制度の狭間の課題」に取り組む三重県社会福祉法人地域公益活動事業みえ福祉の「わ」創造事業を活用し、生活に困窮される方へ食糧提供等を実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急食糧提供	9	5	1	1	6	5	3	3	2	5	3	10	53
緊急時物品等支援	0	4	2	1	2	0	0	1	2	1	0	1	14
合計	9	9	3	2	8	5	3	4	4	6	3	11	67

## 4. 生活困窮者対策支援事業

名張市八幡のコープみえ伊賀センターが実施する宅配サービスで発生した返品商品や余剰品を生活に困窮される方へ食糧として提供するため生活協同組合「コープみえ」と協定を締結し、以下のとおり食料提供を行いました。また、本年度は市民の方々から食糧等寄付をいただきました。その数は個人7名・7団体・2企業から105回にわたる支援でした。ご寄付いただきましたものは生活に困窮される方へ提供しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急食糧提供	4	4	4	12	6	3	4	4	3	2	2	2	50
個人・団体・企業	1	16	21	37	45	25	21	15	27	35	22	29	294

## 5. 三重県居住支援連絡会への参画

住まいの確保が難しい方(住宅確保要配慮者)に対し、緊急対応の案内といった必要な支援を行うことを目的に、名張市とともに、居住支援団体として、三重県居住支援連絡会の活動に参画し生活相談会を2月19日に開催予定でしたが、新型コロナまん延防止措置発令中の為、中止しました。

## 6. 自立相談支援事業

一人ひとりに寄り添った丁寧なインテークを行い、本人とともに課題を整理し、プランを作成することにより、自立に向けた支援を実施しました。また、多様化、複雑化する課題に対応し、必要な支援につなげるため専門職(インテークワーカー)を配置しました。

就労支援に関しては、8件の企業を訪問し事業啓発を行い、内3社5名の一般就労を受け入れていただきました。トータルでは34名が就労を開始することができ、内14名が支援終了となっています。

### ①相談件数(延べ件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	86	98	118	113	115	99	100	120	135	126	114	164	1,388
訪問	18	35	49	47	49	25	30	33	41	25	28	49	429
来所	83	79	84	73	79	54	58	66	47	64	55	69	811
連携	13	10	11	15	13	10	13	30	4	9	16	33	177
同行	1	1	4	6	5	12	2	6	4	7	4	12	64
メール	8	3	1	9	9	5	0	0	17	2	3	4	61
カンファレンス	1	1	2	2	1	1	3	0	3	1	2	1	18
その他	0	1	1	3	4	7	1	1	10	2	0	3	33
合計	210	228	270	268	275	213	207	256	261	236	222	335	2,981

### ②住居確保給付金

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で収入が減少し、離職・廃業と同程度の状況にある方(離職・廃業から2年以内の方または休業等)に対して、家賃相当額を名張市から家主に支給する住居確保給付金に関する相談や申請受付を行いました。

#### 新規・延長・再延長・再々延長・再支給の合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	53	74	92	84	87	70	68	72	72	69	68	83	892
申請件数	2	7	15	4	4	8	6	5	9	7	5	8	80
承認件数	2	7	15	4	4	8	6	5	9	7	5	8	80
金額	80	260	549	153	156	292	225	195	332	259	195	342	3,038

(金額：千円)

### ③支援調整会議の開催

支援内容を検討し、支援の可否を判断するとともに、地域における課題の共有と改善を目的として、関係機関と支援調整会議を月1回開催しました。

支援調整会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	8	7	7	6	5	5	6	6	3	4	6	8	71
評価 再プラン	3	4	0	3	6	1	3	2	3	1	1	1	28
モニタリング 検討	1	0	0	4	0	1	0	1	2	0	0	1	10
終結	2	4	0	0	6	4	2	2	1	3	2	0	26
合計	14	15	7	13	17	11	11	11	9	8	9	10	135

④生活保護受給者等就労自立促進事業の実施

離職者等に対し、生活保護に至る前の段階で就労支援等を実施しました。

10代	20代	30代	40代	50代	60代	就職率
0名	0名	0名	1名	1名	0名	50%

7. 就労準備支援事業／被保護者就労準備支援事業

すぐには就労することが困難な生活困窮者及び生活保護受給者に対し、以下の支援を段階的に実施しました。ニーズに応じた段階的な支援メニューを提供することにより、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を実施することができました。

①支援実施状況

- ・就労に向けて生活習慣の改善等を促す生活自立支援
- ・コミュニケーション能力や社会参加能力を養う社会自立支援
- ・就労に関するスキルやマナーを習得する等の就労自立支援

ア. 就労準備支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	4	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	7
来所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
体験	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
訪問	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	6	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	16

※体験には見学も含む

イ. 被保護者就労準備支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	5	1	1	4	2	1	5	2	4	6	4	3	38
体験	11	0	6	12	12	18	25	24	16	14	10	14	162
その他	2	1	0	0	3	1	3	0	1	0	0	2	13
合計	18	2	7	16	17	20	33	26	21	20	14	19	213

※体験には見学も含む

## ②協力事業所における就労体験

地域内にある事業所の協力を得て、各事業所で行う業務の一部を継続的な就労体験の場として提供しました。事業所における実際の業務を体験することで、就労に向けての経験を積めるよう支援を行いました。本年度は、新型コロナウイルス感染症による影響をうけ1事業所のみの実施となりました。

支援実施状況（延べ件数）

事業所名	体験	見学	事業所名	体験	見学
隠おたがいさん	0	0	ASA ネットワーク 桔梗が丘西部	0	0
あぐりの杜	0	0	NPO 法人アガペの家	154	0
特別養護老人ホーム国津園	0	0	株式会社ユー	0	0
名張特別養護老人ホーム	0	0	レインボークラブ	0	0
協力事業所 合計 8 事業所				154	0

## 8. 家計改善支援事業（旧家計相談支援事業）

公共料金や家賃の支払いが計画的に行えない等、家計に関する生活課題を抱えている生活困窮者に対して、家計支援の視点から、自立に向けての支援を実施しました。生活困窮者本人が家計の現状を理解し、改善方法を考え、将来にわたって家計管理ができるよう、支援を実施しました。

### ①支援実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話メール	1	3	3	1	2	4	15	20	11	4	8	1	73
訪問	0	1	0	0	0	2	3	6	2	0	2	0	16
来所	2	1	3	2	2	3	3	1	2	2	2	3	26
カンファ・連携	0	0	0	0	0	1	3	2	0	0	3	0	9
同行	0	0	0	0	0	0	3	2	3	0	0	0	8
合計	3	5	6	3	4	10	27	31	18	6	15	4	132

## 9. 被保護者就労支援事業

稼働能力判定会議の開催

自立相談支援事業における支援調整会議と一体的に運営することで、情報の共有も容易になり、両事業で連携した支援が可能となりました。

支援決定	6月 1件、9月 1件、12月 1件、1月 1件 3月 2件 合計 6件
その他・協議	1月 1件、3月 1件、 合計 2件

## 4. 生活福祉資金等貸付事業

生活困窮者が社会生活を営むなかで、不時の出費を必要とする場合に、社会の一員として円滑な社会生活が送れるよう、民生委員・児童委員や名張市社会福祉事務所、三重県社協と連携した貸付事業を行いました。

### 1. 地域福祉金庫貸付事業

生活困窮者等に対して、3万円を上限とした緊急的な貸付支援を行い、社会生活が送れるよ

うに自立相談・償還指導を行いました。また、生活保護受給者（申請中含む）に対しては、効果的な貸付けを行うため名張市社会福祉事務所との連携を図りました。

貸付相談件数（延数）	168件
貸付金額	770,000円（38件）
償還額	852,000円（44件）
未償還額（過年度分含む）	741,000円（35件）

## 2. 生活福祉資金貸付事業

障害者世帯・高齢者世帯・低所得世帯に対して、低利または無利子での資金の貸付と必要な援助指導を行う事により経済的自立や生活意欲の助長促進を図りました。

近年、複合的な生活課題を抱え、相談される方が多く、生活困窮者自立支援事業と連携し自立に向けた支援や社会参加を図ることができました。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり生活福祉資金の貸付と比較しても、特例貸付への申請が多かったため貸付件数が減少しました。一方、教育支援資金に関する相談件数、貸付件数、貸付金額は増加しました。

### ①相談及び貸付内容

資金の種類	相談件数(延数)	貸付件数	貸付金額
総合支援資金	9	0	0円
福祉資金	療養費・介護費	5	0円
	福祉費	123	71,800円
	福祉費(住宅)	19	0円
	障害者自動車購入費	12	0円
	生業費	4	0円
	技能習得費	0	0円
	緊急小口資金	59	250,000円
教育支援資金	228	6	3,592,000円
不動産担保型生活資金	28	0	0円
その他	11	0	0円
合計	498	11	3,913,800円

### ②長期滞納者面談

件数	5件
----	----

## 3. 生活福祉資金貸付事業の特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響によって休業や失業状態などになり、収入が減少して生活資金にお悩みの方に対し、緊急かつ一時的な生計維持のための生活費として特例緊急小口資金、また その収入減少が長期にわたることで日常生活の維持が困難な方に、生活の立て直しまでの一定期間(3か月)の生活費として特例総合支援資金の貸付を行いました。

また、令和4年2月中旬から償還免除申請書が借受人に対して順次発送されたため、主に外国にルーツのある借受人に対する償還免除申請に関する相談支援を行いました。

### ①特例緊急小口資金

新型コロナウイルス感染症による経済への影響による休業等を理由に、一時的な資金が必要な方への緊急小口資金貸付を実施。

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談	63	65	45	42	69	41	16	31	16	11	37	44	480
申請	13	16	13	9	16	10	10	8	1	2	7	6	111
承認	16	11	10	5	6	14	11	4	5	0	4	4	90
金額	320	220	200	95	120	280	220	80	100	0	80	80	1,795

(金額：万円)

## ②特例総合支援資金

失業や収入減少が長期にわたり生活に困窮された方には、生活の立て直しのための安定的な緊急総合支援資金貸付を実施。

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談	27	54	37	42	29	43	15	15	12	31	8	22	335
申請	5	14	11	4	4	14	6	6	4	4	3	9	84
承認	5	5	10	9	1	6	13	2	4	5	2	6	68
金額	285	230	540	540	60	345	645	120	240	216	105	330	3,656

(金額：万円)

## ③特例総合支援資金（延長）

総合支援資金の初回貸付を令和3年3月31日までに申請された方への延長貸付は、令和3年6月30日をもって受付を終了。

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申請	0	6	0										6
承認	0	0	6										6
金額	0	0	300										300

\*相談件数は②に含む。

(金額：万円)

## ④特例総合支援資金（再貸付）

緊急小口資金及び総合支援資金の貸付が終了した方に対し再貸付を実施。

令和3年12月31日をもって受付を終了。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談	4	14	16	12	29	26	34	19	8	15	7	2	186
申請	1	2	8	3	9	8	9	7	3				50
承認	14	0	1	1	6	8	7	5	2	2	0	0	46
金額	780	0	40	60	285	465	370	285	105	105			2,495

(金額：万円)

## Ⅱ 【在宅福祉サービス拠点】・【老人福祉センター「ふれあい」拠点】

(介護支援課)

令和3年度は、昨年度に続き「コロナ禍での事業継続」のために、「サービス提供のあり方」と「働き方」について情勢をみながら柔軟に判断・対応していくことが求められる期間でありました。「どれだけ対策を講じてもゼロリスクにはならない」ということと「重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患を持っている方に対応していること」・「クラスターの発生しやすい業務」であることから、職員自身も常に緊張感を持ち「感染しない・持ち込まない・感染させない」ことを強く意識し、業務上だけでなく日常生活での行動制約等も含め、職員及び職員家族の協力も得ながら、事業継続に努めました。

### 重点目標別実績

重点目標 1	中重度ケア+自立支援介護・重度化防止ケアの推進																																						
<p>●事業別実績</p> <p>(1) 老人デイサービス事業</p> <p>コロナ禍ではありましたが、ケア内容の維持に努め、ふれあいデイサービスの特徴である、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中重度（要介護3以上）及び医療的ケアの必要な方の積極的な受入</li> <li>・機能訓練指導員による個別機能訓練の実施</li> </ul> <p>（今年度より実施する者から介護職員が除外され、ふれあいデイサービスでは看護師で実施）するなど「中重度ケアと自立支援介護」の両立に努めました。</p> <p>①年間実績概要：介護給付（要介護1～5）＋総合事業（要支援1～2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>今年度</th> <th>昨年度</th> <th>比較増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開設日</td> <td>308日</td> <td>308日</td> <td>0日</td> </tr> <tr> <td>実利用者数（総計）</td> <td>644人</td> <td>750人</td> <td>▲106人</td> </tr> <tr> <td>延利用者数（総計）</td> <td>5,416人</td> <td>6,359人</td> <td>▲943人</td> </tr> <tr> <td>（日平均）</td> <td>17.6人</td> <td>20.6人</td> <td>▲3.0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【利用者減について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護3以上の方（59%）も積極的に受け入れる特性から、利用者の身体状態や家庭環境等の変動から、入院・入所・ショートステイとなる利用者比率が高いこと</li> <li>・今年度当初、市内に新たな特別養護老人ホームが開設したことでの影響</li> <li>・コロナ禍による事業休止はありませんでしたが、感染拡大防止の観点からの利用自粛や自宅待機等による利用減</li> <li>・近隣地内の水道管破損濁水事故による影響での一部サービス休止による利用控え等が主な要因として考えられます。</li> </ul> <p>②実績内訳</p> <p>ア. 介護給付（要介護1～5）の方へのサービス提供実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>今年度</th> <th>昨年度</th> <th>比較増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実利用者数（年）</td> <td>559人</td> <td>671人</td> <td>▲112人</td> </tr> <tr> <td>（月平均）</td> <td>46.6人</td> <td>55.9人</td> <td>▲9.3人</td> </tr> <tr> <td>延利用者数（年）</td> <td>4,881人</td> <td>5,877人</td> <td>▲996人</td> </tr> </tbody> </table>					今年度	昨年度	比較増減	開設日	308日	308日	0日	実利用者数（総計）	644人	750人	▲106人	延利用者数（総計）	5,416人	6,359人	▲943人	（日平均）	17.6人	20.6人	▲3.0人		今年度	昨年度	比較増減	実利用者数（年）	559人	671人	▲112人	（月平均）	46.6人	55.9人	▲9.3人	延利用者数（年）	4,881人	5,877人	▲996人
	今年度	昨年度	比較増減																																				
開設日	308日	308日	0日																																				
実利用者数（総計）	644人	750人	▲106人																																				
延利用者数（総計）	5,416人	6,359人	▲943人																																				
（日平均）	17.6人	20.6人	▲3.0人																																				
	今年度	昨年度	比較増減																																				
実利用者数（年）	559人	671人	▲112人																																				
（月平均）	46.6人	55.9人	▲9.3人																																				
延利用者数（年）	4,881人	5,877人	▲996人																																				

(月平均)	406.8人	489.8人	▲83人
(日平均)	15.6人	19.1人	▲3.5人
平均介護度	2.73	2.72	0.1
サービス提供体制強化加算Ⅰ (全延)	4,881人	5,877人	▲996人
中重度ケア体制加算(全延)	4,881人	5,877人	▲996人
要介護3以上割合	59.0%	55.2%	3.8%
入浴介助加算Ⅰ	4,492人	5,324人	▲832人
(延利用者における割合)	92.0%	90.6%	1.4%
個別機能訓練Ⅰ加算	2,770人	2,739人	31人
(延利用者における割合)	57.0%	47.0%	10%
個別機能訓練Ⅱ加算	369人	184人	185人
(延利用者における割合)	7.6%	3.1%	4.5%
生活機能向上連携加算Ⅱ2	369人	447人	▲78人
(実利用者における割合)	66%	66%	0.4%
科学的介護推進加算(全実)	559	0	559
ADL維持等加算(全実)	559	447人	▲78人

- ・コロナ禍においても利用者個々の状態に合わせた機能訓練を実施するため、リモートによる他機関リハビリ専門職との会議等を行い、質の担保を図りました。
- ・令和3年度介護報酬改定で新設された科学的介護推進加算にも当初より対応しました。

イ. 総合事業(要支援1~2)の方へのサービス提供実績

	今年度	昨年度	比較増減
実利用者数(年)	85人	79人	6人
(月平均)	7.1人	6.6人	0.5人
延利用者数(年)	535人	482人	53人
(月平均)	44.6人	40.2人	4.4人
(日平均)	1.74人	1.6人	0.14人
サービス提供体制強化加算	85人	79人	6人
運動器機能向上加算	77人	70人	7人
(実利用者における割合)	90.6%	88.6%	2.0%
科学的介護推進加算	85人	0人	85人

- ・利用者の在宅生活の維持を目的に軽中度のリハビリニーズ者の確保のため、昨年度より個別機能訓練加算を算定しており、機能訓練目的の利用者も徐々に増加傾向にあります。

ウ. コロナ禍での特別加算

加算名	内容
新型コロナウイルス感染症上乗せ加算(0.1%加算)	4月~9月末の半年間の時限加算
通所介護感染症災害加算(3%加算)	8月~10月、12月~1月の5か月算定

エ. 昭和保育園との交流事業の実施

	内容
クリスマス会	ふれあいホールで発表・交流を行いました。
日常交流	コロナ禍での入室が制限される中、デイルーム外から園児による唄の披露を行っていただきました。
制作活動交流	保育園からの依頼により、入園式・卒園式、運動会等の花飾りやブローチの制作を行いました。
制作展示交流	ふれあい2階で、デイと保育園の制作展示を共同で行いました。

(2) 居宅介護支援事業

- ・ふれあい居宅介護支援事業所は、名張市において唯一、特定事業所加算Ⅰを算定する事業所であり配置職員全員が主任介護支援専門員資格を有していることから、中重度者（要介護3以上）や医療的ケアが必要な方、地域包括支援センターから要請される困難ケース等への対応に努めました。
- ・コロナ関係の厚生労働省からの各種通知に則り既存ケースへの柔軟な対応を図りました。

①年間実績：介護給付（要介護1～5）＋総合事業（要支援1～2）

	今年度	昨年度	比較増減
要介護（1～5）	1, 839件	2, 129件	▲290件
要支援（1～2）	100件	117件	▲17件
計	1, 939件	2, 246件	▲307件
月当たり	161.6件	187.2件	▲25.6件
ケアマネ一人当たり	29.8件	31.2件	▲1.4件

※ケアマネ配置：4月～8月：6名、9月～3月：5名（年間常勤換算率：5.4名）

【利用者減について】

- ・要介護3以上の方（59%）も積極的に受入れる特性から、利用者の身体状態や家庭環境等の変動から、入院・入所となる利用者比率が高いこと
- ・今年度当初、市内に新たな特別養護老人ホームが開設したことでの影響
- ・実施体制として、後期より職員1名が長期の病気休暇となり配置職員自体の減員による影響等が主な要因として考えられます。

②実績内訳

ア. 介護給付（要介護1～5）の方へのサービス提供実績

	今年度	昨年度	比較増減
年間実績（延べ）	1, 839件	2, 129件	▲290件
（月平均）	153.3件	177.4件	▲24.1件
要介護3以上割合	45.1%	43.4%	1.7%
特定事業所加算Ⅰ	12/12か月	12/12か月	0月
初回加算	44件	43件	1件
入院時連携加算Ⅰ	38件	31件	7件
入院時連携加算Ⅱ	8件	4件	4件

退院退所加算 I 1	13件	20件	▲7件
退院退所加算 I 2	4件	5件	▲1件
通院時情報連携加算	7件	0件	7件
ターミナル加算	4件	0件	4件
平均介護度	2.51	2.44	0.07

- ・病院、医療系施設からのターミナルケア案件（類するもの含む）を積極的に受入れることで、関連機関からの照会が増加し、新規ケースとなる傾向となっています。
- ・配置職員が年度途中に減員となりましたが、新規の受入れについては可能な限り対応し、利用者数の維持に努めました。

#### イ. 介護予防・総合事業（要支援 1～2）の方へのサービス提供実績

	今年度	昨年度	比較増減
年間実績（延べ）	100件	117件	▲17件
（月平均）	8.3件	9.8件	▲1.5件
初回加算	1件	0件	1件

#### ウ. 休日・時間外対応状況】

	今年度	昨年度	比較増減
通常（8：30～17：30）	147件	167件	▲20件
早朝（6：00～8：30）	33件	16件	17件
夜間（17：30～22：00）	104件	108件	▲4件
深夜（22：00～6：00）	1件	4件	▲3件
計	285件	295件	▲10件

#### エ. 申請書類等提出代行業務

	今年度	昨年度	比較増減
認定申請書、ケアプラン作成依頼 届、紙おむつ給付利用新選書等	330件	322件	8件

#### （3）老人福祉センター事業

##### ①利用状況

	今年度	昨年度	比較増減
開館日数	269日	246日	23日
年間延べ利用者数	12,412人	10,575人	1,837人
（月平均）	1,034人	881人	153人
検温・健康チェック	12,412人	10,575人	1,837人
浴室利用者数	8,221人	7,205人	1,016人
福祉バス利用者数	4,475人	3,541人	934人

※緊急事態宣言により、8月27日～9月30日休館

※新町地内水道管破裂による濁水発生により11月27日（土）休館

※まん延防止等重点措置により1月24日～3月6日一部事業（介護予防事業、サークル活動、ビリヤード、囲碁将棋）の中止

感染対策の徹底	<p>●入館時 マスクの着用、手指消毒を徹底し、利用者の入館時の検温と体調チェックシートによる体調チェックでかぜ症状の有無を確認し、37℃以上の発熱やかぜ症状がある場合には利用の自粛をお願いし、同居家族の方の体調も確認しています。検温は、非接触体温計を使用した職員による測定から、顔認証体温計を設置し利用者自身による測定を周知しました。</p> <p>●施設管理・利用 3密（密集・密接・密閉）対策として、換気の徹底、温湿度管理を行い、浴室は脱衣ロッカーを1列開けた利用で利用制限するとともに黙浴を啓発しています。教養娯楽室は対面を避けて椅子を配置し、飛沫シートを設置して飲食時の黙食を啓発しています。ヘルストロン、マッサージ機は1つ間隔を開けるなど感染対策の徹底を図りました。</p> <p>●趣味活動、サークル活動等 囲碁、将棋、マージャンは名張市「市民活動における新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドライン」を守りながら飛沫防止シートも設置しました。</p> <p>●中止 感染防止策がとれないカラオケルームの使用、湯茶の提供、新聞・雑誌の提供は中止しました。</p>
---------	--

## ②生きがい活動支援通所事業

### ア. 事業実績

メニュー	内容・実績														
見守り・安全管理	利用者の平均年齢は高くなっており、足腰に不安のある方、物忘れのある方など、見守りが必要な利用者も増加してきており、随時必要に応じた声掛け・相談等を行っています。また、施設内の見回りも特に入浴時の事故防止の観点から30分ごとに実施しています。														
風呂の日の実施	利用者から薬湯等を喜ばれ、利用促進を図るサービス事業として実施しました。	毎月、1週間（月～土）	延べ2,049名												
ふれあカード抽選会	10回利用後のカードを応募券に当選者には1日利用無料券で利用でき、利用促進を図るサービス事業として実施しました。	毎月、1回	延べ460名												
各種発表会の開催	利用者の練習成果の発表や交流の機会を提供し、楽しみを増やすことで生きがいにつながるよう支援するため開催しました。														
	ビリヤード大会	6月22日（火）	参加者：15名												
		10月26日（火）	参加者：12名												
	新春カラオケ大会 七夕カラオケ大会	新型コロナウイルス感染予防の観点から中止しました。													
自主サークル活動及び趣味活動	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>サークル名</th> <th>回数</th> <th>延参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カラオケ教室</td> <td>20回</td> <td>278名</td> </tr> <tr> <td>いきいき書道クラブ（漢字・かな）</td> <td>10回</td> <td>100名</td> </tr> <tr> <td>レクリエーションサークル</td> <td>7回</td> <td>57名</td> </tr> </tbody> </table>			サークル名	回数	延参加者数	カラオケ教室	20回	278名	いきいき書道クラブ（漢字・かな）	10回	100名	レクリエーションサークル	7回	57名
	サークル名	回数	延参加者数												
	カラオケ教室	20回	278名												
	いきいき書道クラブ（漢字・かな）	10回	100名												
レクリエーションサークル	7回	57名													

	ながつき友の会（茶道）	3回	12名
	計	40回	447名
	趣味活動	延参加者数	
	ビリヤード		1,167名
	マーじゃん		713名
	囲碁・将棋		615名
	計		2,495名

#### イ. 地域活動との連携等

内 容	回数	延協力者数
名張地区民生委員児童委員協議会「高齢者のつどい」	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催を中止しました。	
名張地区松寿会「カラオケ大会」		
名張市社協「ふれあいフェスティバル」		

#### ウ. 利用促進

利用案内チラシの配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月介護保険証新規交付時に同封</li> <li>・地域福祉係協力による民生委員児童委員等への配布</li> <li>・福祉まちづくりセンターでの配布</li> </ul>
庁内動画モニター	利用案内を放送
FMなばり	利用案内を放送
社協ホームページ・広報	イベント、教室等の利用・予定案内の掲載

#### エ. 老朽化施設への対応

主な修繕箇所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もみじの湯：換気扇</li> <li>・もみじの湯：洗い場シャワー水栓取替工事</li> <li>・もみじの湯：濾過機制御用ブレーカー取替工事</li> <li>・トイレ便座</li> </ul>
--------	--

### ③介護予防事業

#### ア. 介護予防に関する知識の普及啓発

メニュー	内容
健康づくり・介護予防啓発チラシの配布	健康づくり、介護予防（フレイル予防）に関する啓発チラシの作成・配布
脳トレプリントの配布	認知機能維持を目的に、数独や漢字ドリル、間違い探しにチャレンジできるよう毎週更新したプリントを配布
お口の健康チラシの配布	口腔機能の維持向上を目的に、啓発チラシ「はっちゃんだより」の作成・配布

#### イ. 利用者の状態の把握

メニュー	内容
健康相談	検温コーナーで体調チェックを毎日行い、本人希望により随時健康相談に応じました。

介護予防手帳	マシン・トレーニング教室参加者にフレイル予防に関する取り組みや身体状況が記録でき、フレイル意識の向上と参加者身体状況の把握に努めました。
--------	--

ウ. 介護予防に係る運動等、介護予防に関する教室の通年開催

メニュー	内容	備考
一般マシン・トレーニング教室 (基本) (追加)	(基本) 1クール7回のコースで、運動器機能の向上のため、マシン・トレーニング教室を実施(月～金曜日に実施)しました。 (追加) マシン教室経験者を対象に、1日追加してマシン・トレーニングを実施できるようにしました。	実施日数:160日 延べ 2,555名  延べ 93名
スクエアステップ教室	高齢者の介護予防、認知機能向上、体力づくりに効果がある「スクエアステップ」をリーダー(ボランティア)の協力を得て実施しました。	実施日数:37日 延べ 340名
体操の時間	身体機能の低下を予防するため、気軽に利用時に体を動かす機会を提供しました。	実施日数:9日 延べ 45名
ヨーガ教室	次年度の本格実に向けて2日コースで計画しましたがまん延防止重点措置により延期し1回の実施を終了しました。	実施日数:1日 延べ 4名

エ. 担い手としての参加促進

内 容	回数	延協力者数
カラオケ指導	20回	20名
スクエアステップ教室(介護予防事業)	26回	49名
ヨーガ教室(介護予防事業)	1回	1名

オ. 地域の多様な主体との連携及び関係団体との連携による専門職の関与

メニュー	内容
三重県歯科衛生士会名張伊賀支部 三重県地域活動栄養士連絡協議会 伊賀地区口腔ケアステーション 名張市立看護学校	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、予定していた「料理教室」「相談会」「講演会」等は中止しました。  ・実習生の受入:24日間(実24名 延88名) ・フレイル予防に係る協働事業の検討協議を行い、次年度の協働事業の内容を精査しました。

(4) 地域福祉への貢献

内 容	延協力者数
重層的支援体制整備事業への対応協議(地域福祉係)	生活支援コーディネーター及びボランティアコーディネーターとともに、「老人福祉センターを拠点とした、高齢者の担い手としての参加」事業について検討(8回)し、フレイルサポーター(仮称)によるヨーガ教室をプレ実施しました。

在宅介護者のつどいへの協力	介護相談、企画調整等を地域福祉係と協力して実施しました。
---------------	------------------------------

重点目標 2	健全経営体制の基盤整備
--------	-------------

(1) 事業管理について

運営管理会議の開催	<p>課長・係長・管理者による毎月定例開催（12回/年）</p> <p>【基本的検討項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務実績と運営課題の確認</li> <li>・職員管理上の課題の確認</li> <li>・サービス提供上の課題の確認</li> <li>・事業計画、予算について</li> <li>・法人に対する調整事項について</li> </ul> <p>【令和3年度検討項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対応について</li> <li>・令和3年度介護報酬改定への対応について</li> <li>・テレワークの推進について</li> <li>・地域福祉課職員の受け入れについて</li> <li>・デイ老福協働体制について</li> <li>・令和4年度運営体制について</li> </ul>								
管理者・主任会議の開催	<p>課長・各事業管理者・主任による原則毎月定例開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業推進状況の詳細確認と課題整理、対応策の検討</li> <li>・事業所職員の状況についての確認</li> <li>・コロナ禍での事業課題の確認</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">デイサービス</td> <td style="width: 50%;">15回/年</td> </tr> <tr> <td>居宅介護支援事業</td> <td>12回/年</td> </tr> <tr> <td>老人福祉センター</td> <td>18回/年</td> </tr> <tr> <td>デイ・老福合同</td> <td>12回/年</td> </tr> </table>	デイサービス	15回/年	居宅介護支援事業	12回/年	老人福祉センター	18回/年	デイ・老福合同	12回/年
デイサービス	15回/年								
居宅介護支援事業	12回/年								
老人福祉センター	18回/年								
デイ・老福合同	12回/年								
定例事業所会議の開催	<p>各事業による関連職員全体での運営・サービス管理会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営管理会議、管理者・主任会議、サービス向上検討委員会等の検討・確定情報等の周知徹底</li> <li>・一部事例検討の実施</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">デイサービス</td> <td style="width: 50%;">3回/年</td> </tr> <tr> <td>居宅介護支援事業</td> <td>47回/年</td> </tr> <tr> <td>老人福祉センター</td> <td>12回/年</td> </tr> </table> <p>※居宅介護支援事業所については、特定事業所加算Ⅰの算定要件により、週1回程度の質担保に係る会議の開催が義務付けされています。</p> <p>※デイサービスについては、各職種・担当業務別の会議を行っているため、全体会議は最低限の回数としています。</p>	デイサービス	3回/年	居宅介護支援事業	47回/年	老人福祉センター	12回/年		
デイサービス	3回/年								
居宅介護支援事業	47回/年								
老人福祉センター	12回/年								

(2) サービス管理について

サービス向上検討委員会の開催	<p>課長・係長・管理者・主任により毎月定例開催（12回/年） （特にサービス提供・質の担保について調整）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの標準化について</li> <li>・利用者確保について</li> <li>・課内協力体制について</li> <li>・BCP策定について</li> </ul>
----------------	--

介護保険事業の適正実施、法令順守のための担当別会議の実施	デイサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護員会議：11回/年</li> <li>・看護師会議：14回/年</li> <li>・機能訓練指導員会議：12回/年</li> <li>・生活機能向上連携会議：12回/年</li> <li>・調理員会議：5回/年</li> <li>・コロナ関連衛生物品管理会議：6回/年</li> </ul>
	居宅介護支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例事業所会議：48回/年</li> <li>※事業所会議を再掲</li> </ul>

※令和3年度については、「コロナ禍における感染対策と経営の両立」について検討しながら、適正なサービス提供の維持と継続に努めました。

### (3) 介護支援課としての新型コロナウイルス感染症対策の推進

定例介護支援課感染対策委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況の把握と想定課題の検討</li> <li>・各種関連通知の確認</li> <li>・職員行動指針、ガイドラインの確認と運用徹底</li> <li>・職員の心身状況の確認</li> </ul> <p>※サービス向上検討委員会時に同時開催（12回/年）</p>
臨時介護支援課感染対策委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内・伊賀管内の感染状況による対応検討</li> <li>・利用者及び同居家族等の感染状況による対応検討</li> <li>・職員及び同居家族等の感染状況による対応検討</li> </ul>
感染予防・拡大防止に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援課職員行動指針の更新と提供</li> <li>・各事業所業務日誌による接触度評価確認</li> <li>・介護支援課健康観察・行動記録表による就業外の行動履歴と接触者確認</li> <li>・職員及び利用者・来訪者への感染対策の徹底</li> <li>・デイサービスに移動型オゾン脱臭装置、オゾンガス殺菌装置、サーモカメラの設置（公益法人 JKA 補助事業）及び iPadmini の設置（日本看護協会感染対策事業）</li> </ul>
法人感染対策への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン接種への協力・支援</li> <li>・法人コロナ感染症備蓄初動検討会での提案</li> <li>・抗原キット運用についての協力・支援</li> <li>・昭和保育園での感染対応支援</li> </ul>

※管内の感染状況や法人内の状況にも随時対応するため、適宜臨時の感染対策委員会を開催し、感染予防と拡大防止及び発生時の対応想定を繰り返し行い、適応力の向上に努めました。

※また、コロナ禍において、「利用者の安全・安心」「職員の安全・安心」を両立させながら事業継続していくためには、法人全体として取り組むことが求められていることへの理解と協力が醸成されるように努めました。

### (4) 人材育成

ア. 各種研修会等への参加（類型別研修数（延参加者数ではない））

感染対策関係（コロナ、インフル、食中毒等）	17	介護保険制度関係	5
自立支援関係、介護技術	31	認知症関係	8

ケアマネジメントスキル	6	虐待、成年後見、権利擁護関係	5
災害・リスクマネジメント関係	6	地域福祉、地域包括ケア関係	3
B C P関係	9	労務、ハラスメント関係	2

※w e b研修の導入により、登録職員も含めた全職員への研修機会の拡大と計画的な研修受講を行うなど、コロナ禍でも資質向上に努めました。

※今年度は、B C P策定に向けた研修機会を設けました。

#### イ. 係長・主任（ロワー）級の育成

・デイサービス及び老人福祉センターにおいて、係長級の定年退職や主任級及びリーダー職の就業形態の変更が次年度想定されていたため、新たな体制と運営管理体系を年内に構成し、両事業の管理体制整備と新たな主任・リーダー級への育成を行いました。

#### (5) 実習の受け入れ

居宅介護支援	コロナ第6波により次年度へ延期
老人福祉センター	名張市立看護専門学校 ・対象者24名 ・実習期間：24日間

重点目標 3	業務効率の向上と働きやすい環境づくり	
(1) コロナ禍での事業継続に向けた環境整備と業務効率の向上		
Z o o m活用によるリモート会議の実施	<p><b>【法人内】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存会議のリモート化</li> <li>・臨時開催（休日・時間外）が必要な場合での運用</li> <li>・就業制限中（自宅待機中）での運用</li> </ul> <p>等により、感染予防策の徹底と感染拡大時の対応を試験的に積み重ね、緊急時の実践力を高めました。</p> <p><b>【法人外】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他機関との会議等での活用</li> </ul>	
L I N E活用による情報共有及び緊急対応の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援課課長・管理者グループによる時間外・休日での即応体制整備と運用</li> <li>・介護支援課感染対策委員会グループによる、感染案件発生時の情報・課題・方策の共有</li> </ul> <p>により、リアルタイムの意思決定と対応を図りました。</p>	
リモートアクセスツールの導入	介護保険業務	<p>介護保険システムへのアクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の介護ソフトへのリモートアクセスによる記録業務、情報共有</li> <li>・訪問先でのモバイルワーク及び24時間対応時（緊急対応時含む）の利用者情報へのアクセスによる対応力の向上（モバイルワーク環境の整備）</li> </ul>
	管理業務	各種法人システムへのアクセス環境の整備

	(バックオフィス業務)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勤怠管理システム</li> <li>・ 会計システム</li> <li>・ 社内ネットワーク</li> </ul>
その他リモートアクセスに関係なく対応可能業務の検討		
	日常的業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議関連資料、報告書の作成</li> <li>・ 会議出席</li> <li>・ 目標管理等のシート作成</li> <li>・ レク等の必要物品作成</li> <li>・ その他</li> </ul>

### (3) コロナ禍での職員管理

- ・ 時節ごとに職員への行動指針やメッセージ文書を課長・管理者名で発出し、健康管理と感染予防・拡大防止に向けた行動についての理解を促しました。  
(職員家族に対しても、理解と協力をお願いする文書も発出しました。)
- ・ 感染不安や出勤判断等について、常時(365日24時間)職員からの相談を受け付け少しでも安心して出勤してもらえるよう対応しました。
- ・ 時節ごとの感染状況等を整理し説明する機会を設け、正しい理解と対応意識を醸成しました。また、法人に対しても以下の項目について理解と要請を行い、安心して働ける職場環境づくり整備に努めました。
  - ・ コロナ禍での働く介護事業従事職員の心身負担への理解と支援
  - ・ ハイリスク職員への適正対応
  - ・ コロナシフト運用への理解
  - ・ 就業制限と休業手当の支給要件の整理と説明
  - ・ テレワーク環境の適正化に向けた法人としての検討体制整備

### (4) 地域福祉課休職職員の受入(デイサービス事業9月より)

- ・ 昨年度に引き続き、地域福祉課所属休職職員について、地域福祉課及び総務課からの2度目の要請により、復職プログラムの策定と出勤支援及び職場復帰支援と育成について対応しました。
- ・ 法人としてのメンタル予防・支援体制の強化について要請するなど、法人全体としての取り組み体制の整備に貢献しました。

## 【昭和保育園拠点】（昭和保育園）

### 1. 事業の概要

#### 1. 保育目標

昭和保育園の めざす子ども像	心身ともに健康な子ども～よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子ども～ ○体力のある子ども ○意欲のある子ども ○友だちと感じあえる子ども
-------------------	---

#### 2. 保育実績

保育人数	0歳児9名、1歳16名、2歳児23名 3歳児25名、4歳児25名、5歳児25名 合計123名
土曜日保育	延べ1,649名 平均32名/週

### 3. 年間行事

#### 【園行事】

4月5日	はじまりのつどい	10月26日	芋ほり
4月23日	よもぎ摘み 5歳児	11月8日	親子遠足（5歳児）
5月7日	春の遠足	11月19日	交通安全教室
6月9日	交通安全教室	12月18日	生活発表会
7月7日	七夕会	12月23日	冬のお楽しみ会
7月12日	水遊び開始	1月5日	新年のつどい
7月21日	夏のお楽しみ会	3月5日	入園説明会
8月6日	へいわのつどい（親子）	3月15日	お別れ会
8月7日	お久しぶり1年生	3月18日	お別れ散歩
10月2日	運動会	3月26日	卒園式
10月22日	秋の遠足		

## 2. 適切な運営体制確立

### 1. 運営委員会の開催

保護者や地域に開かれた運営を推進するため、運営委員会を2回開催し、保育計画や保育内容についての協議を行いました。

開催日	内容
第1回 (6月19日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度保育計画について</li> <li>保育課程（年間計画・保健計画・食育計画）</li> <li>施設環境整備推進について</li> </ul>
第2回 (3月書面による開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度運営状況報告について</li> <li>令和4年度計画について</li> </ul>

## 2. 施設環境整備の推進

環境整備のため 設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗菌食べこぼしマット</li> <li>・フリーラック（保育室）</li> <li>・パネルシアター用パネル</li> <li>・デジタルカメラ</li> <li>・機能ラック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者用駐車場看板</li> <li>・傘立て（5歳児用）</li> <li>・多機能CDラジオ</li> <li>・災害用仮設テント</li> <li>・電子レンジ</li> </ul>
老朽化のため 改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門扉等外構改修工事</li> <li>・保育室空調機修繕</li> <li>・ガス漏れ警報器取替（給食室、調乳室、給湯室）</li> <li>・園庭ブランコ塗装工事</li> <li>・絵本ルームアコーデオンカーテン取替</li> <li>・給食室ドアノブ取替</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食室流し台水道バルブ</li> <li>・4歳児保育室換気扇取替</li> <li>・園庭複合遊具アスレチックネットの取替</li> <li>・事務室ドア修繕</li> </ul>

## 3. 健康管理の推進

内科健診	4月22日、10月14日
尿検査	4月16日
歯科検診	6月3日
5歳児健診	6月25日、11月17日
身体計測	乳児（毎月）、幼児（隔月）
視力検査	11月14日（5歳児）、3月7日（4歳児）

- ①職員の健康診断
- ②給食・調乳に係る職員の検便（月1回以上）
- ③防虫対策（可動式除菌・害虫駆除器クッカノンスーパー設置）

## 4. 防災計画実施と交通安全指導の推進

年間計画を立て、毎月1回避難訓練を実施しました。また、保護者代表の幼児交通安全クラブ員3名がリーダーとなり、交通安全教室を開催しました。

### ①避難訓練実施

4月	話を聞く（火災・地震）	10月	不審者侵入
5月	火災（給食室より出火）	11月	火災（湯沸かし室より出火）
6月	地震想定	12月	火災（乳児室より出火）
7月	長時間保育時の火災	1月	地震
8月	風水害	2月	近隣住宅の火災
9月	地震	3月	総合訓練

### ②交通安全教室（指導）実施

6月11日	交通安全教室実施	11月19日	交通安全教室実施
-------	----------	--------	----------

## 5. 保護者との連携

毎月園だより、クラスだよりを発行し保育内容の共有、保育理解につなげました。子育て相談や、就学前相談・個人懇談を実施し保護者との連携を図りました。また、ドキュメンテーションを活用して保育を見える化し、子どもの育ちを共感できるよう努めました。

## 6. 地域との交流の推進

- ①地域の公園散歩（随時）鍛冶町公園、豊後町公園、朝日公園
- ②城下川の花筏見物
- ③寿栄神社境内散歩（随時）
- ④宇流富志禰神社茅野輪くぐり、初詣
- ⑤名張地区まちづくり推進協議会さんとの交流 ・竹行灯づくり ・エコロード散策
- ⑥愛宕神社おみこし見物
- ⑦やなせ宿絵画展示（5歳児）

## 7. 幼児の体力の向上

季節や子どもの興味に合わせて園庭のアスレチック遊具の配置を替え、自ら体を動かして遊ぶ環境を整えました。また、幼児クラスは週1回パワフルデーとして、鉄棒や縄跳びや跳び箱などの体育遊具で遊ぶ時間を定期的につくることで、楽しみながら運動発達を向上させることに繋がりました

## 8. 読書活動の推進

子どもの興味や発達に応じた絵本を購入し、お話会を月一回開催しました。

また、絵本の紹介や子どもの読書の様子を伝える「えほんのとびら」を発行し、保護者への読書啓発に繋がりました。

## 9. ふれあい活動・高齢者との交流（新型コロナ感染拡大防止のため中止）

- ①小、中、高校生とのふれあい活動 感染症対応により中止
- ②職場体験（名張中、赤目中、南中）感染症対応により中止
- ③ふれあいデイサービスの利用者の方との交流。
  - ・入園式、卒園式、運動会等行事用装飾の共同制作
  - ・利用者さんによる手作り玩具の提供（人形の服、ままごと用かばん、あやとり紐等）
  - ・ふれあいホールにて歌や合奏の発表交流（5歳児）

## 10. 職員の資質向上の推進

年間計画を立て、園内研修を進め園外研修にも積極的に参加しました。また、保育士の技能・経験に応じ専門リーダー（乳児・幼児・発達支援・子育て・食育・図書・保健・アレルギー・栄養管理）となりキャリアアップに繋がりました。

### ①研修内容

園内研修	・人権保育 ・障害児保育 ・公開保育 ・乳児保育 ・幼児保育
園外研修	・な同会（なばりの同和保育を考える会） ・絵本 ・障害児保育 ・乳児保育 ・幼児保育 ・食育・発達支援 ・保健 ・公開保育 ・わらべうた ・保育実践 ・地域子育て ・保護者支援

### ②実習生の受入

実習目的	人数	学校名
保育実習	5名	愛知文教短期大学 皇學館大學 奈良佐保短期大学 長野県立大学
小児看護	3名	名張市立看護専門学校

### 3. 特別保育事業

#### 1. 低年齢保育事業の推進

生後6カ月より受け入れ、0歳児～2歳児まで51名の子どもを保育しました。年齢の発達に応じ、年間・月別に保育計画を持ち、一人ひとりの子どもの個別計画や個人記録をとり、保護者支援（育児相談やアドバイス、看護師による健康相談）を行いました。

#### 2. 延長保育事業の推進

①延長保育の利用実績（平日18:15～19:15）

4月	108名	8月	77名	12月	85名
5月	87名	9月	81名	1月	70名
6月	118名	10月	84名	2月	63名
7月	73名	11月	85名	3月	87名

一か月平均 85名 年間延べ利用人数 1,018名

②スポット保育の利用実績

延長保育の登録園児以外にも朝、夕の突発的な標準時間保育・延長保育に対応しました。

#### 3. 個別乳幼児特別支援事業の推進

個別支援計画を立て、発達支援センター等関係機関と5歳児2名障害児保育を行いました。5歳児健診、定期巡回訪問、就学前教育相談を行い、途切れのない発達支援を行いました。

#### 4. 異年齢交流の推進

毎週火曜日のにこにこデーを開催し、3.4.5歳児で、体操やふれあい遊びを行いました。

#### 5. 一時預かり保育事業の推進

保護者の就労や疾病、育児に伴う心理的・肉体的負担の解消など私的な理由やその他の事由により保育を必要とする児童を、延べ114名預かりました。

利 用 児 童 数						
半日			一日			計
① 勤務 形態等	② 緊急 一時的	③ 私的 理由等	① 勤務 形態等	② 緊急 形態等	③ 私的 理由等	
11	0	6	9	2	86	114

#### 6. 家庭支援保育の推進

保護者の気持ちに寄り添い、子育て相談に応じたり家庭推進保育士を中心に保護者支援を行いました。

### 4. マイ保育ステーションの取り組み（地域の子育て支援事業の推進）

育児体験や育児相談、一時預かりサービス利用を通して、妊娠期から途切れのない地域の子育て支援の拠点として事業に取り組みました。コロナ禍において、関係機関と連携を図り感染拡大防止対策を取りながら、親子が安心して過ごせる遊び場を提供しました。

## 1. マイ保育ステーションの実績

項目	人数	内容
新規登録	121名	未就園児、妊婦さんの登録者
利用人数	延べ1,060名	0歳児とその親の利用が全体の半数を占め、全て3歳未満児です。妊婦は延べ27名利用されました
一時預かり無料体験	19名	年1回、午前もしくは午後の半日無料で一時預かり保育をしました

## 2. 毎月の行事内容

行事	内容
わらべうた	わらべうた・ふれあい遊び
バルーンアート	風船で楽しい事をします
折り紙で遊ぼう	親子で折り紙遊び
ステーションで遊ぼう	制作遊びやパワールームで遊びます
絵本大好き	ステーションのスタッフによる絵本のお話会
誕生日会	誕生日会をします
ナースと共に	看護師が身体計測をします
その他	園庭開放・避難訓練

## IV 【総合福祉センターふれあい拠点】（総務課）

### 1. 総合福祉センター指定管理事業

#### 1. 施設の維持管理

##### ①施設、設備の保守点検・修繕等による安全管理の徹底

###### ア. 施設の管理状況

総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、福祉関係団体や市民のみなさまが安心、安全に集う場として活用されるよう、施設及び設備の保守点検・修繕等を実施しました。

大規模改修としては、名張市において自家発電装置の更新を実施しました。

また、総合福祉センターふれあいは、築26年が経過し、施設、設備の老朽化が顕著となっていることから、設備更新や大規模修繕を確実に実施していくため、パコティンヒーター、直流電源装置、正面玄関自動ドア等の改修に向けて名張市へ要請を行いました。

主 な 管 理 項 目	費 用
警備業務委託	554,400円
自家用電気工作物保安管理業務委託	441,760円
昇降機保守点検業務委託	1,211,100円
駐車場管制装置保守点検業務委託	462,000円
構内交換電話設備保守業務委託	154,000円
清掃業務委託	2,961,758円
設備保守管理業務委託	8,791,200円
運営管理にかかる休日及び時間外業務委託	1,555,331円
敷地内高木伐採作業委託及び法面草刈業務委託	450,880円
室内照明LED更新委託	528,000円
その他	115,940円
管理に要した費用合計	17,226,369円

###### イ. 施設の修繕状況

危険度や重要度を考慮し、名張市と協議しながら、順次、修繕を行いました。

主な修繕箇所	屋上ルーフファンモーター取替修繕、3階避難口誘導灯取替修繕 受水槽定水位弁取替修繕、屋外排水管修繕、給水配管用吊り金具取替修繕、駐車場段差修繕、東玄関軒天上塗装撤去工事、1階男子トイレ小便器用センサー更新工事、ふれあいホール天井補修工事、パコティンヒーター圧力スイッチ取替修繕、中央監視設備定期交換機器更新、貸館会議室室内照明修繕 等
修繕に要した費用	2,055,680円

##### ②施設利用状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めながら、ふれあいホール及び会議室の利用を促進しました。それにより、前年度より利用件数及び参加費収入等が増となりました。

###### ア. 緊急事態宣言による貸館休止及び濁水事故による貸館休止

緊急事態宣言による貸館休止	休止期間： 8月27日～ 9月30日
濁水事故による貸館休止	休止期間： 11月26日～11月28日

イ. 会議室・ホール利用件数： 2, 059件 (前年比650件増)

ウ. 利用料・参加費収入

内 訳	金 額
会議室・ホール	946,630円
駐車場	61,650円
コピー・印刷代	202,535円
卓球台	125,000円
合 計	1,335,815円

### ③環境美化活動の計画的実施による施設周辺の管理

総合福祉センター内各事業所職員による美化活動として、年間を通じて施設周辺の除草作業や周辺歩道等の落葉掃きを行いました。

### ④新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の実施

昨年度に引き続き利用者へ感染対策への取組みを呼びかけるとともに、各階のトイレへ手指消毒スタンド及びペーパータオルを設置しました。また、共同募金配分事業により顔認証型サーマルカメラを設置し、来客者が速やかに検温できる環境を整えました。

## 2. 施設利用者の意見反映

利用者の意見は、センター内に設置した「ご意見箱」や窓口対応により把握し、施設サービスや職員資質の向上につなげるように努めました。

## 3. 防災対策

例年9月に実施しています、消防・防災訓練については、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受け中止としましたが、下半期の消防訓練については感染拡大に留意し規模を縮小し実施しました。

### ①防火管理委員会の開催

第1回	8月27日(金)	第2回	3月8日(火)
-----	----------	-----	---------

### ②消防計画に基づく消防、防災訓練の実施

総合福祉センター内での火災発生を想定し、各事業所職員を対象とした消防、防災訓練を実施しました。

実施日時	3月22日(火) 13:30~14:30
訓練内容	コロナ禍における実施のため、従来の大規模地震等を想定した訓練ではなく、名張市総合福祉センター内での火災発生を想定し、センター内職員に避難、誘導等の諸活動を習熟させる目的で実施しました。 ・通報・連絡訓練      ・防災壁操作訓練      ・初期消火訓練
参加者	社協、障害者人材センター、名張市シルバー人材センター、ハローワークプラザ名張、家庭児童相談室、近鉄ファシリティーズ職員